

教員おすすめ図書 一覧

2014/11/21作成
2024/5/22更新

所属	教員名
学長	藤野陽三
短期大学副学長	白幡晶
図書館長	関俊暢

所属	教員名
経済学部	勝浦信幸
	河村徳士
	神崎直美
	小山真理子
	清水昭男

所属	教員名
経営学部	篠原康男
	田部溪哉
	千葉佳裕

所属	教員名
現代政策学部	飯塚智規
	市川直子
	大菌陽子
	土屋正臣
	真殿仁美
	柳澤智美

所属	教員名
理学部数学科	小木曾岳義
理学部化学科	石川満
	宇和田貴之

所属	教員名
薬学部薬学科	大嶋繁
	畑中朋美
	渡辺知恵
薬学部医療栄養学科	五十嵐庸
	伊東順太
	君羅好史
	山王丸靖子
	中里見真紀
	古屋牧子
	松本明世
	松本明世、藤縄善朗
	松本明世、真野博
	真野博

所属	教員名
リベラルアーツセンター	高嶺エヴァ

退任・退職された教員				
所属	教員名	所属	教員名	
元学長	森本雅憲	理学部数学科	神島芳宣	
経済学部	小山修平	理学部化学科	横山文郎	
			竹村哲雄	
	江良亮	理学部教養	伊藤陽	
	玉城逸彦		谷覺	
	富貴島明	薬学部薬学科	萩原政彦	
	場勝義雄		武内智春	
	石川共平		橋本フミ恵	
	経営学部	小口千明	薬学部薬科学科	杉林堅次
		小林孝雄		関口祐介
佐竹博		荒井健		
現代政策学部	吉田博行	リベラルアーツセンター	高橋久美	
	森田昌幸		中村一輝	
	松野民雄		渋井二三男	
	持丸邦子		杵淵友子	

〈学長〉おすすめ図書 一覧

推薦者	推薦図書				推薦文
教員名	タイトル	著者 出版者 出版年	請求記号	資料番号	
学長 藤野陽三	橋をかける：子供時代の読書の思い出	美智子著 文藝春秋 2009.4	019.5//Ko25	4201201899	
	知の逆転	ジャレド・ダイヤモンド [ほか述] 吉成真由美 インタビュー・編 NHK出版 2012.12	040//D71	4202002286	知の時代と言われています。人工知能はどこまで発展するのでしょうか。今後、知がどのように展開するのでしょうか。知を代表する世界の識者数十名にサイエンライター吉成真由美さんがインタビューしてまとめたものです。知をリードする人達が何を言うのか、是非、読んでみてください。
	思考の整理学	外山滋比古著 筑摩書房 1986.4	141.5//To79	4201001671	
	還暦からの底力：歴史・人・旅に学ぶ生き方	出口治明著 講談社 2020.5	159.79//D53	4202004222	『ここにしかない大学』という出口治明さんの本は、私と同じように70歳になって大学学長を経験した方の本です。この方は保険会社を経て、60歳で新しいライフネットという新しい会社を設立した企業経営者でもあります。大分県別府にある立命館アジア太平洋大学APUをいかに魅力的な大学にするかを述べています。私にとり、とても参考になった本です。皆さんと力を合わせて、城西大学をより魅力的な大学にしたいと思っています。なお、出口さんは1万冊以上の数の本を読んだと言われ、世界史、日本史に通じた大変な教養人です。私などは、最近でた『還暦からの底力』にもいろいろ教えられました。
	知の英断	ジミー・カーター [ほか述]吉成真由美 インタビュー・編 NHK出版 2012.13	304//C23	4202002275	
	人類の未来：AI、経済、民主主義	ノーム・チョムスキー [ほか述] 吉成真由美インタビュー・編 NHK出版 2012.13	304//C53	4202002264	知の時代と言われています。人工知能はどこまで発展するのでしょうか。今後、知がどのように展開するのでしょうか。知を代表する世界の識者数十名にサイエンライター吉成真由美さんがインタビューしてまとめたものです。知をリードする人達が何を言うのか、是非、読んでみてください。
	いま、君たちに一番伝えたいこと	池上彰著 日本経済新聞出版社 2015.4	304//I33	5201542767	ご存知の方も多いと思いますが、池上彰さんはNHKでジャーナリストとして活躍し、60歳を過ぎてから東京工業大学に招かれました。理系の学生を主たる対象に、社会に関心を持つことの重要性を訴え、読書の大事さ、議論・対話の大事さなどを講義の中で学生に伝えてきました。講義では、社会で問題になっている身近なことをテーマに選ぶように努力してこられました。これまでも沢山の本をだされていますが、いずれもが平易に書かれています。
	池上彰の未来を拓く君たちへ	池上彰著 日本経済新聞 2020.1	304//I33	4202002253	

推薦者	推薦図書				推薦文
教員名	タイトル	著者 出版者 出版年	請求記号	資料番号	
学長 藤野陽三	成功する人は偶然を味方にする：運と成功の経済学	ロバート・H.フランク著 月沢李歌子訳 日本経済新聞出版社 2017.3	331.04//F44	5201732095	
	経済学を味わう：東大1、2年生に大人気の授業	市村英彦 [ほか] 編 日本評論社 2020.4	331//I15	5202012290	『経済学を味わう』という本は、東大教養学部で経済学部進学予定の学生に経済学の面白みを知ってもらおうという主旨で最近始められた講義を書籍化したものです。今年はコロナ禍でオンラインで講義が行われ、それもあって、理系の学生の聴講が増え、受講者が1000名を超えたと聞いています。理系の学生でも読みやすい本になっていますので、社会科学の一つとして重要な地位を占める経済学をぜひ味わってみてください。
	社会的共通資本	宇沢弘文著 岩波書店 2000.11	343.7//U99	4202002231	私の専門は土木工学で、社会基盤(インフラストラクチャー)、中でも橋を専門にして研究をしてきました。インフラは日々の生活を行う上で欠かせないサービスですが、インフラを含め、公共財を学問的に整理したのが、宇沢弘文先生による『社会的共通資本』という概念で、本には自然環境、土木的インフラ、制度資本の3つから構成されると書いてあります。私にとり、社会科学の重要性を目覚めさせてくれた本でもあります。
	タテ社会と現代日	中根千枝著 現代新書編集部構成 講談社 2019.11	361.3//N38	4202002220	日本は先輩、後輩を大事にするタテ社会とされています。上下関係がはっきりした社会という事です。このタテ社会という言葉は50年以上前に世の中に流行らせたのは女性学者の中根千枝先生による『タテ社会の人間関係』です。タテ社会の限界、問題点が色々述べられています。これもベストセラーになり100万部を超え、今でも売れています。52年経ち、日本の社会は変わった面もありますが、まだまだタテ社会で、昨年、『タテ社会と現代日本』(中根千枝著)という本が出され、非正規雇用やパワハラなどの問題がタテ社会が起因となっていることを述べています。なお、中根千枝先生は女性で初めて文化勲章をとられた方です。私は日本のタテ社会が好きではなく、山岸俊男先生が提案している“信頼社会”、つまりヨコ社会をモットーの一つにしています。対談形式で書かれている『リスクに背を向ける日本人』という本はとても読みやすい本で、別の角度から日本のタテ社会を批判しています。
	リスクに背を向ける日本人	山岸俊男, メアリー・C・プリントン著 講談社 2010.10	361.42//Y23	4202002344	
	タテ社会の人間関係	中根千枝著 講談社 1967.2	361.6//N38	4202002219	
	学びのティップス：大学で鍛える思考法	近田政博著 玉川大学出版部 2009.11	377.15//C43	5201230327	
	思考を鍛える大学の学び入門：論理的な考え方・書き方からキャリアデザインまで	井下千以子著 慶應義塾大学出版会 2020.1	377.15//I56	5201954094	インターネットで世界中のありとあらゆる情報に携帯電話を介して繋がる時代がきました。問題は、いかに課題を見つけるか？そしてそれをどのように解決するかです。大学は単に教える/教わる場所ではありません。アクティブラーニングが初等教育から大事になってきている所以です。アクティブラーニングに関する本も沢山出ています。学生がそれを知っておくことも大事だと思います。
	スタディスキルズ・トレーニング：大学で学ぶための25のスキル	吉原恵子 [ほか] 著 実教出版 2017.10	377.15//Y87	5202010221	

推薦者	推薦図書				推薦文
教員名	タイトル	著者 出版者 出版年	請求記号	資料番号	
学長 藤野陽三	ここにしかない大学：APU 学長日記	出口治明著 日経BPマーケティング 2020.5	377.28//D53	5202019184	『ここにしかない大学』という出口治明さんの本は、私と同じように70歳になって大学学長を経験した方の本です。この方は保険会社を経て、60歳で新しいライフネットという新しい会社を設立した企業経営者でもあります。大分県別府にある立命館アジア太平洋大学APUをいかに魅力的な大学にしているかを述べています。私にとり、とても参考になった本です。皆さんと力を合わせて、城西大学をより魅力的な大学にしたいと思っています。なお、出口さんは1万冊以上の数の本を読んだと言われ、世界史、日本史に通じた大変な教養人です。私などは、最近でた『還暦からの底力』にもいろいろ教えられました。
	新・大学でなにを学ぶか	上田紀行編著 岩波書店 2020.2	377//U32	4202002242	特に1年生に推薦するのが『新・大学で何を学ぶか』という本です。これは東京工業大学の先生方が新入生に向けて語り掛ける本です。リベラルアーツ系の先生を中心に色々な分野の方が書かれています。大学の「学び」と高校での「学び」はかなり違います。大学での学びとその楽しさを知ってもらいたく、この本を書くことにしたのであります。私も皆さんに、大学での学び方を早く知って、学ぶことの楽しさを味わっていただきたいと思います。それが出来るようになれば、大学で学ぶことの意義を半分以上達成できたとも言えると思います。
	理科系の作文技術	木下是雄著 中央公論新社 2002.6	407//Ki46	4201601757	木下是雄先生の『理科系の作文技術』は、言ってみればレポートをどのように書くかという事を教えてくれる本です。皆さんも、レポートというのはこれまでも書いてきたと思いますが、レポートを書くにもルールがあり、技術が必要です。ただ書けばいいというものでは全くありません。この本は基本的なルールを丁寧に、例を交えながら説明しており、多くの方に読まれてきた名著です。1981年に初版が出され、100万部以上も刊行されました。ちなみに、著者の木下是雄さんはロゲルギストという物理学者のグループの一人で、『物理の散歩道』という有名な物理の随想シリーズの著者としても有名な方です。私も若い頃、この『物理の散歩道』を何度となく、読み返しました。なお、『理科系の作文技術』は文系の方にも参考になる本で、文系の先生が推薦される本の一つにもなっています。レポートをちゃんと書けるようになるというのはとても重要なことですので、この本からそれを是非、学んでください。
	物理の散歩道	ロゲルギスト著 岩波書店 1963-1972	[正]420.4//R62//1 [続] 420.4//R62//2	1000093537 1000093548	
	物理の散歩道	ロゲルギスト著 岩波書店 2009.9-2010.2	第三：新装版420.4//R62//3 第四：新装版 420.4//R62//4 第五：新装版 420.4//R62//5	5202020303 5202021268 5202020962	木下是雄先生の『理科系の作文技術』は、言ってみればレポートをどのように書くかという事を教えてくれる本です。皆さんも、レポートというのはこれまでも書いてきたと思いますが、レポートを書くにもルールがあり、技術が必要です。ただ書けばいいというものでは全くありません。この本は基本的なルールを丁寧に、例を交えながら説明しており、多くの方に読まれてきた名著です。1981年に初版が出され、100万部以上も刊行されました。ちなみに、著者の木下是雄さんはロゲルギストという物理学者のグループの一人で、『物理の散歩道』という有名な物理の随想シリーズの著者としても有名な方です。私も若い頃、この『物理の散歩道』を何度となく、読み返しました。なお、『理科系の作文技術』は文系の方にも参考になる本で、文系の先生が推薦される本の一つにもなっています。レポートをちゃんと書けるようになるというのはとても重要なことですので、この本からそれを是非、学んでください。
	新物理の散歩道	ロゲルギスト著 中央公論社 1974-1983	第1集 420.4//R62//1 第2集 420.4//R62//2 第3集 420.4//R62//3 第4集 420.4//R62//4 第5集 420.4//R62//5	0082002173 0082002162 0082002151 0082002140 5202019550	

推薦者	推薦図書				推薦文
教員名	タイトル	著者 出版者 出版年	請求記号	資料番号	
学長 藤野陽三	医療につける薬：内田樹・鷺田清一に聞く	岩田健太郎著 [内田樹, 鷺田清一述] 筑摩書房 2014.6	490.15//I97	5202010210	『医療につける薬』は薬学の本ではありません。広い意味での医療のあるべき姿を考えようとする本で、医療とは「人間を相手にするものである。病気を対象とするべきではない」という趣旨の本です。薬学も医療の一環であり、医者、看護師、介護士らとチームを組んでやることの大切さを語っています。哲学者との対談も入っていて読みやすい本です。
	Come On!目を覚まそう! : ローマクラブ『成長の限界』から半世紀：環境危機を迎えた「人新世」をどう生きるか?	エルンスト・フォン・ワイツゼッカー、 アンダース・ワイクマン編著 中村秀規 [ほか] 訳 明石書店 2019.12	519//W55	5202010196	
	知的技法としてのコミュニケーション：「話す力」は「生きる力」	児島建次郎編著 山田匡一、寺西裕一、 都築由美著 ミネルヴァ書房 2017.3	809.2//Ko39	5202010209	
	考える力：新しい自分を創る	外山滋比古著 海竜社 2019.2	914.6//To79	5202010436	

<短期大学副学長>おすすめ図書 一覧

推薦者	推薦図書				推薦文
教員名	タイトル	著者 出版者 出版年	請求記号	資料番号	
短期大学副学長 白幡晶	知的生産の技術	梅棹忠夫著 岩波書店 1969.6	002.7//U72	4200604110	高校1年の時に、大人になった気分で、夢中になって読んだ本です。著者は日本の文化人類学のパイオニアであり、知性の巨人のような人ですが、題名のイメージとは異なり、文章も分かりやすく楽しめると思います。物事を整理して考えるとどういふことか、大学に入ってからも何度も読み直し、僕の基本的な考え方をつくった一冊といえます。
	ソロモンの指環：動物行動学入門	コンラート・ローレンツ著；日高敏隆訳 早川書房 2006.6	481.78//L88	5200934634	著者は、ノーベル賞を受賞した著名な動物学者ですが、観察の鋭さに衝撃を受けつつも、ワクワク感いっぱい楽しく読めると思います。ソロモン王の指輪をすると動物の話がわかるようになるという伝説にあるような、愛情に満ちた観察と色々な動物とのやりとりを通して、動物の見方、物事への感じ方が大きく変わる一冊です。

〈図書館長〉おすすめ図書 一覧

推薦者	推薦図書				推薦文
教員名	タイトル	著者 出版者 出版年	請求記号	資料番号	
関俊暢	われ思うゆえに思考実験あり：最新科学理論がもたらす究極の知的冒険	橋元淳一郎著 早川書房 2002.2	404//H38	9200003609	アインシュタインの相対性理論の入門本を読んだことがある方なら、光速に限りなく近い速度で走行する列車に乗って、様々な実験を試みる記述は、馴染みのものと思います。思考実験は、極限的な状況を想定し、自身が持つ科学の原理を頼りに結果を予測する、科学的思考に関するトレーニングです。何といても、思考実験はただですから、皆さん思考実験で科学者としてステップアップを！！
	泣くな研修医	中山祐次郎 [著] 幻冬舎 2020.4	913.6//N45//1	4202002366	免許取りたての新人医師が、自身の未熟さや無力さに焦りを覚えながら、“あるべき姿”、“命”に向き合い、格闘するお話です。医療関係を目指す人でなくとも、“なりたい自分”と“現実の自分”の乖離に苦戦している全ての若者にオススメです。また、コロナ禍において、医療人、特に医師に対して、その職責を理解し、敬意と感謝の気持ちを確認するのにも良い読書となると思います。その意味で、全ての年齢層の読者にお薦めします。
	逃げるな新人外科医	中山祐次郎 [著] 幻冬舎 2020.5	913.6//N45//2	4202002377	

〈経済学部〉教員おすすめ図書 一覧

推薦者		推薦図書			推薦文
教員名	タイトル	著者 出版者 出版年	請求記号	資料番号	
勝浦信幸	20歳のときに知っておきたかったこと	ティナ・シーリーグ著；高遠裕子訳 阪急コミュニケーションズ 2010.3	159//Se15	5201323352	本書は、スタンフォード大学での起業家育成のための講義をまとめたものですが、自分の脳を開放して、発見力、発想力、創造力を高めるヒント、そして人生を面白くするヒントがたくさん詰まっています。内容もわかりやすくでとどんどん読み進めます。もしかしたら、学生の皆さんの人生を変えるかもしれません。ぜひ、読んでみてください。
	プロフェッショナルの条件：いかに成果をあげ、成長するか	P.F.ドラッカー著；上田惇生編訳 ダイヤモンド社 2000.6	159.4//D92	9200013907	本書は、ドラッカーの著書10点と論文1点から、そのエッセンスを抜き出し編集したものです。「はじめて読むドラッカー」との副題がついているとおり、とてもわかりやすく、よくまとめられています。ドラッカーは、まずこの一冊から！
	無名戦士たちの行政改革：WHY NOTの風	WHY NOTメンバー著；澤昭裕編 関西学院大学出版会 2007.11	318//W69	5201232158	本書は、自治体の長をはじめとした行政内部からの改革はもとより、市民からの行政改革、メディアからの行政改革の実践についても、それぞれの立場から書かれています。公務員を目指す学生だけでなく、将来、地域の一市民となる学生にも、ぜひ一読をお勧めします。監修は、NEWS ZEROのメインキャスター村尾さんです。ちなみに、私も3章を書かせていただいています。
	父が息子に語るマクロ経済学	齊藤誠著 勁草書房 2014.8	331//Sa25	5201440888	本書は、最初から最後まで、父と息子の対話形式で書かれています。とても読みやすいと思います。ただ、書かれている内容は、次第に高度になっていきます。少し難しい数式なども登場しますが、「難しいな」と思ったら、そこは読み飛ばしてもいいと思います。
	里山資本主義：日本経済は「安心の原理」で動く	藻谷浩介、NHK広島取材班〔著〕 角川書店 2013.7	332.107//Mo82	4201401619	本書は、「デフレの正体」に続く、藻谷さんの第2のベストセラーとなる本です。マネー資本主義、アメリカ型資本主義から脱却し、真に豊かな生活を送るためにはどうすればいいのかを示唆してくれます。とても読みやすいのでお勧めです。
	私たちはどうつながっているのか：ネットワークの科学を応用する	増田直紀著 中央公論新社 2007.4	361.3//Ma66	4200701460	人は一人では生きていけません。家族、友人だけでなく、好むと好まざるとにかかわらず、社会に出れば多くの人たちとのつながりが生まれます。本書は、人と人とのつながりをネットワーク論によって分析し、日常生活への応用について書かれています。
	地方経済を救うエコノミックガーデニング：地域主体のビジネス環境整備手法；guide book for economic gardeners	山本尚史著 新建新聞社 2010.4	601//Y31	5201440877	本書は、持続的な地域経済発展のヒントが書かれています。オレゴン州ビーバートン市の具体的な取組事例の紹介や、日本の地方自治体で実践する場合の課題などが、まとめられています。
河村徳士	読書と社会科学	内田義彦著 岩波新書 1985.1	019//U14	4201807481	読書雑れが進んでいると言われています。そもそも本を書き、それを別の人が読むという人間の営みはどのような意味があるのでしょうか。大学生活ははやや無目的に時間をつかえる機会が多く、ちょっと難しい本を手にとるゆとりが持てるのもある意味ではめぐまれたことと思われれます。たまには小難しそうな本を読むのも良いでしょう。

推薦者	推薦図書				推薦文
教員名	タイトル	著者 出版者 出版年	請求記号	資料番号	
河村徳士	仕事と日本人	武田晴人著 ちくま新書 2008.1	366.021//Ta59	4201807469	大学を卒業し、うまくいけば、どこかに就職し働いて歳を重ねるのだろうとばくぜんと考えている人も多いと思います。しかし、いざ働くとはどういうことかを考えるきっかけはなかなか得られていないのではないのでしょうか。働く意味はお金をもらうことにしかないのか、労働の喜びはあるのだろうか、ボランティアは働いたことにならないのか、いろいろ考える材料が提示されていると思います。
	大学でなにを学ぶか	隅谷三喜男著 岩波ジュニア新書 1981.11	377//Su67	4201807470	少し古い本ですが、今の大学事情を考えるうえで重要な論点が指摘されています。大学は就職するためにあるのか、就職のために専門的な技術を学ばなければ意味はないのか、主体的に学ぶことに意味があるとすれば、いったい何を勉強したらよいのか。答えがあるわけではありませんが、大学生を送るうえでも指針になればと思います。
神崎直美	橋をかける：子供時代の読書の思い出	美智子著 文藝春秋 2009	019.5//Ko26	4201201899	この著作は、2013年に私が担当するソフォモアセミナーの読書討論会で対象とした書籍の1つです。令和の幕開けに際し、昭和天皇・皇后美智子さまのこれまでの事蹟を回顧する報道が多々ありました。改めて美智子さまと児童文学との関わりが語られる中で、この著作、および著作でふれられた新美南吉著「でんでん虫のかなしみ」について耳にされた学生さんもうらっしゃることでしょう。美智子さまは子供時代の読書から楽しみを与えられたこと、さらに根つこと翼を与えられた、すなわち、「外に、内に、橋をかけ、自分の世界を少しずつ広げて育てていくときに、大きな助けとなってくれました」と記されています。加えて、読書から「人生の全てが、決して単純でないこと」や、人間関係や国家関係においても「私たちは、複雑さに耐えて生きていかなければならないということ」を教えられたと述べていらっしゃいます。この著作から、読書からの学びを人生の支えとされながら、人生の中で激しい波に揉まれた折に、静かに受け止めて耐えながら、人生を歩み続けられたお姿が髣髴とうかがわれ心が打たれますとともに、人生における読書との最上の在り方を提示してくださったと感じました。
	小泉今日子書評集	小泉今日子著 中央公論新社 2015.10	019.9//Ko38	5201657436	歌手・女優のキョンキョンが、読売新聞の読書委員を10年担当した折の書評97編をまとめた書。それぞれの本、さらには読書の楽しさと魅力が満ち溢れていると共に、書評者が人生にしっかりと向き合い、真摯に生きてきたことが感じられます。本学の学生さんの中で読書好きの方の多くは「小説が好き」とおっしゃいますので、次に読む本を探す時、この書評集に掲載された本から選んでみてはいかがでしょうか。さらに、「書評とは何か」ということを知り、かつ学ぶ為の好適な本でもあります。なお、書評者の言葉に共感するものが多々ありました。以下に1つあげておきます。「形のあるものじゃなく、誰かの心の中に、ほんのりと温かい小さな光のような思い出をいくつか残すことが出来たら、自分の生きた人生にようやく意味を感じられるような気がした」
	14歳からの哲学：考えるための教科書	池田晶子著 トランスビュー 2003.3	104//I32	5200931517	2003年に刊行された時、日常の言葉でわかりやすく哲学を説明している本として、たいへん話題になりました。それゆえ「14歳からの・・・」を冠した本が、その後、様々な分野で刊行されるようになりました。「知りたい」と思うこと、そして「考える」ことにより、人生は豊かになります。また、「考える」とは、生きる上での力になります。本書には、家族、社会、理想と現実、友情と愛情、仕事と生活など、大学生の皆さんの日常に直結することもあれば、人生の意味、存在の謎など深遠なテーマもあります。「考える」ことにより、一度きりの人生を充実させましょう。
	明治人の力量	佐々木隆著 講談社 2002.8	210.08//N71//21	5200259227	世界を帝国主義の嵐が吹き荒れていた明治時代は、日本が欧米諸国に肩を並べてゆくために、不羈独立した国家を形成すべく、先人たちの壮絶な努力がありました。その様子を徹底した実証主義で明らかにした著作です。当時の日本が直面していた真の事実を世界の動向と共に知り、皆さんの歴史認識の糧にしてほしいです。

推薦者	推薦図書				推薦文
教員名	タイトル	著者 出版者 出版年	請求記号	資料番号	
神崎直美	「平穏死」のすすめ：口から食べられなくなったらどうしますか	石飛幸三〔著〕 講談社 2013	369.263//181	4201514784	医療の世界は日進月歩。治療が難しかった病気も、刻々と新たな治療法が研究され実用化して命が救われています。しかし、医療が進歩した現在において、実は治療することによりかえって本人が苦しむ場合があります。それは老衰です。人生の最終楽章というべき終末期に過度な延命治療により、人としての尊厳を失いながら生き永らえることは、本人、さらにはその家族に心身共に苦痛をもたらすこととなります。老衰のために口から飲食ができなくなったならば、延命治療はせずに人として安らかな最後を迎える、これが著者が提唱する「平穏死」です。命あるものが避けられないのはいつか必ず訪れる死です。青春真っ只中で日々元気いっぱい楽しんでいる学生の皆さんにとって、死は遠い存在でしょう。でも、元気な今だからこそ、この現実を知って、思いをめぐらせていただきたいのです。いつの日か必ず訪れる最愛の家族との辛い別れの時が凄惨な治療の場ではなく、自然の摂理を受け入れて穏やかであたたかく濃密な時を過ごすことが叶えば・・・と存じます。
	「鎌倉百人一首」を歩く	尾崎左永子著；原田寛写真 集英社 2008.5	911.157//O96	4201622068	古都鎌倉は小さな山々の緑に囲まれ、南には青い海が広がり、自然豊かな美しい土地です。鎌倉は古代から現在に至るまで、多くの人々の歌心を揺さぶり、沢山の短歌が詠まれました。この書は、かつて鎌倉ペンクラブが選んだ「鎌倉百人一首」から、さらに約50首を歌人の尾崎氏が選り解説を付し、さらに古都の写真家原田氏が短歌に所縁の芸術的な写真を寄せた書です。是非、短歌の調べとその背景を楽しみながら、美しい風景写真を眺めて、仮想鎌倉散策してみてください。鎌倉在住の2人の手によるこの書は、鎌倉の魅力をたっぷりと伝えてくれます。さらには、実際にみなさんが鎌倉を訪れるきっかけとなればとてもうれしいです。なお、鎌倉好きな私にとっては、宝物というべき存在の一書です。
	美しく愛（かな）しき日本：歌集	岡野弘彦著 角川書店 2012.3	911.168//O45	5201424844	日本人が古代から連綿と継承してきた短歌は、人々の心を紡いだものです。文語短歌ならではの調べの美しさと濃密さを味わいつつ、昭和の戦争と敗戦、および東日本大震災に対する著者の思いに添いながら、学生の皆さんが未来に向けていかに生きてゆくべきか、考えてみるきっかけになることと存じます。
	舟を編む	三浦しをん著 光文社 2011.9	913.6//Mi67	5201155359	辞書の編集を軸に4人の人物が登場します。辞書の編集に人生をかけた研究者、専門知識を期待されて抜擢された編集者、周囲の人々を気遣う心を持ちながらも辞書作りに情熱を感じられない編集者、花形部署から辞書編集部に異動となり左遷されたように感じている編集者。それぞれが苦悩しながらも、職場における自己の存在意義を見出し、仕事に情熱をそそいでゆく姿が描かれています。社会に出たら苦悩はつきもの。仕事で悩んだ時に思い出していただければ、心の支えになる一書と存じます。
	羊と鋼の森	宮下奈都著 文藝春秋 2015	913.6//Mi83	5201849460	皆さんは、将来どのような仕事に就きたいと思っていますか。大好きなこと・興味を寄せていることを仕事に選び社会貢献ができること、充実した日々をおくることができます。この書物の主人公外村は、高校に来たピアノ調律師板鳥の調律の音色に魅了されました。運命的な出会いを得た外村は、調律師を自分の進路として目指し、専門学校で学び、卒業後、板鳥が勤める楽器店で調律師として働き始めます。さらに、調律師としてよりよい調律ができるよう、悩みながら、努力を重ねていきます。希望する仕事に就けることは、実に幸せなことですが、そのためには努力が必要であり、かつ努力を継続してゆくこと、研鑽に努めさらなる向上を目指すことの大切さが描かれています。ひたむきに努力することは実に尊く、人生を豊かに過ごすこととなるでしょう。静謐感をたたえた文体は、読み進めながら心がとても落ち着き、清々しい読後感を得られます。なお、この書籍は第13回（2016年）本屋大賞を受賞しました。読書が大好きな書店員さんたちが選んだ本屋大賞は、魅力的な書物揃いです。他の受賞作・候補作もお薦めですので、お気に入りの書物を探してみてください。

推薦者	推薦図書				推薦文
教員名	タイトル	著者 出版者 出版年	請求記号	資料番号	
神崎直美	ツバキ文具店	小川糸著 幻冬舎 2016.4	913.6//O24	5201834817	主人公は故郷の鎌倉に戻り、家業の文具店兼代書屋を継いだポッポちゃん、こと鳩子さん。新たな出会いを重ねながら、代書を通じて、わだかまりがあった亡き祖母と、心の和解に至る物語です。本書の見どころの1つは、手書きの手紙の表情豊かな筆跡です。さらに、鎌倉の四季の移ろいの中で、日々の生活を丁寧に営む様子も魅力です。祖母のいない世界で「一歩前に踏み出さなくてはいけない」との思いに達し、祖母への手紙をしたためたポッポちゃんは、思いを行動に移し、人生を静かに切り開いていきます。その様子は、是非とも続編の『キラキラ共和国』(幻冬舎)をひもといて、ご確認ください。
	カシス川	荻野アナン著 文藝春秋 2017.10	913.6//O25	5201753990	少子高齢化の現在、介護に関する小説やルポルターージュが多々刊行されています。本書は少子高齢化時代の究極な介護—一人っ子(しかも闘病中)で3人の身内を看取った著者の体験—を7編からなる小説にまとめたものです。小説ですが、介護者がとまどい、心を痛める被介護者の言葉や行動は、介護の現場での現実そのものです。肉親であるからこそ、言葉に尽くしがたい動揺・傷心・失望・絶望、そしてその繰り返し。壮絶な日々のいくつかの破片を、著者は小説というオブラートに包んで文学に昇華させました。同じ体験をした(している)読者には、共感、受容を持って心の救いになります。この小説は理解がむずかしいところもあるかもしれませんが、将来、介護に直面した時、きっと納得できるでしょう。その時にこの本を思い出してひもいてください。きっと、救いの小船が見えると存じます。
	太郎物語：大学編	曾野綾子著 新潮社 1987.5	913.6//So44	4201404781	長いようであっという間の大学生活。実り豊かな日々となるか否かは、皆さん次第です。主人公の太郎君は一年生。学び、遊び、考え、時には悩みながら、生き生きと日々を過ごしています。皆さんはどのような毎日を送っていますか。同世代の太郎君の日常だからこそ、大学生活をいかに過ごすべきかの示唆が得られる一書と思います。
	みをつくし料理帖 (全10巻) +みをつくし献立帖	高田郁著 角川春樹事務所 2009.5-2014.8	913.6//Ta28	4201000248 4201502860~ 4201502951	幼い頃に故郷の大坂で水害により両親を亡くした主人公の滯が、江戸で料理の道に奮闘する姿を描いた歴史小説です。努力を尽くすにもかかわらず、繰り返す理不尽に苦しみ絶望に陥りながらも、自分が選んだ料理の道に突き進んでいく様子は、清しく実に天晴れです。滯が考案した料理はどれもおいしそう。食いしん坊な方、読み味わってみてください。この本と出合った契機は2014年末に大学時代のサークルの仲間と会食した際に読書談義が盛り上がり、私がきっと好きそうな本として先輩がお勧めくださいました。読み始めると魅了されて全10冊を一気に読了しました。お仲間での読書談義も良書に出会える良い機会ですので、併せてお勧めいたします。
	窓ぎわのトットちゃん	黒柳徹子著 講談社 1981.3	916//Ku78	0090092749	初めてこの著作を読んだのは、初版刊行直後で高校生の頃でした。いわさきちひろさんの手によるかわいらしい少女が描かれた表紙をひらき、読み進めると天真爛漫な主人公トットちゃんに魅了されました。次にこの書物をひもいたのは大学時代。教員を目指し教職科目を履修していた日々でした。本書に出てくる校長先生の包み込むような優しさ、一人一人の生徒の個性を見つめ、大切に伸ばしてゆく教育に、教育者および教育の場としての理想の姿を見出し、感銘をうけました。3回目はこの著作を手にしたのは今年(平成29年)の春、書店で文庫版を見て、懐かしく思いました。久々に読んだ本書は、戦争の空襲によるトモエ学園の焼失、それに伴うトットちゃんの幸せな学園生活の終焉に一心を痛め、静かな反戦小説と感じました。 1度読んだ本でも、後に読み直すと、その折々に心に響く事項が変わります。読み手の年齢・立場、さらには読み手を取り巻く環境・世相により、1冊の本は様々に語りかけてくれます。そして、隣国のミサイル発射の報道を頻りに耳にするこの頃、戦争は絶対悪であることと、平和の尊さを改めて心に留めていただきたく、本書をお薦めいたします。

推薦者	推薦図書				推薦文
教員名	タイトル	著者 出版者 出版年	請求記号	資料番号	
神崎直美	20歳のときに知っておきたかったこと	ティナ・シーリグ著；高遠裕子訳 阪急コミュニケーションズ 2010.3	159//Se15	5201323352	本書は、スタンフォード大学での起業家育成のための講義をまとめたものですが、自分の脳を開放して、発見力、発想力、創造力を高めるヒント、そして人生を面白くするヒントがたくさん詰まっています。内容もわかりやすくでどんどん読み進めます。もしかしたら、学生の皆さんの人生を変えるかもしれません。ぜひ、読んでみてください。
	好日日記：季節のように生きる	森下典子著 バルコエンタテインメント事業部 2018.10	791.049//Mo65	5202042241	新型コロナウイルスによるパンデミックという非常時を生きている現在、従来のようにのびのびと外出、旅行などが出来ない日々が続いています。大学生の皆さんには、とりわけ窮屈に感じていることと存じます。しかし、時は静かに流れ、季節は巡っています。移り行く季節に心を傾け、目をこらし、耳をすますことで、時の流れに日々旅をしていることに気づきます。その移ろいを味わいながら、心豊かに過ごすことができます。この本は以上のことを語りかけてくれています。さらに、控えめに差し挟まれている人生に対する著者の思いが心を打ちます。茶道の世界を描き映画化した『日は好日―「お茶」が教えてくれた15のしあわせ』と、著者が自ら描いた挿絵が茶道に対する愛を感じる『好日絵巻』を併せて、3部作としてお薦めします。
	日は好日：「お茶」が教えてくれた15のしあわせ	森下典子著 飛鳥新社 2008.11	791.049//Mo65	5202042252	
	好日絵巻：季節のめぐり、茶室のいろどり	森下典子著 バルコエンタテインメント事業部 2020.7	791.049//Mo65	5202042263	
	北原白秋歌集	高野公彦編 岩波書店 1999.5	911.168//Ki64	1000190684	
	向田邦子全集 新版	向田邦子著 文藝春秋 2009.4-2010.4	918.68//Mu27//1~11、別1、別2	5202146439 ~ 5202146554	2021年は向田邦子氏の没後40年。向田氏を偲ぶ特別企画の書籍や著者の文庫本が重版されて書店に並びました。昭和のラジオ・テレビの脚本家として多くの名作品を手がけ、エッセイスト・小説家として注目され始めた直後に直木賞受賞、しかしその1年後に不慮の事故で急逝された向田氏の作品は、人の心の機微を巧みにとらえ描き出し、今なお多くのファンがいます。私もその1人です。『思い出トランプ』『あ・うん』をはじめとしてお薦めしたい作品ばかりですので、全集を推薦します。昭和という時代を知る文学作品として、好きな巻から紐解いてみてください。
ヤングケアラー：介護する子どもたち	毎日新聞取材班著 毎日新聞出版 2021.11	367.61//Ma31	5202146736	「ヤングケアラー」とは、本来、大人が担う介護を担っている18歳未満の子どものことです。子どもが加重に家族の介護に関わらざるを得なくなり、日常生活、学業に影響を及ぼしていることが、近年、少子高齢化・家族の世帯数減少による問題として注目され始めました。大学生の場合は、「若者ケアラー」と定義されます。この書物には具体例がわかりやすく掲載されています。国も教育機関も「ヤングケアラー」「若者ケアラー」について、これから対策を検討してゆくところです。介護は家族として当然と思ひ、限界を超えた介護を続けている場合もあります。自らの現状が「ヤングケアラー」を経て「若者ケアラー」であると気づいた方は、遠慮なく身近なゼミの教員、または学生相談室などに相談してみてください。なお、澁谷智子著『ヤングケアラー ― 介護を担う子ども・若者の現実―』（中公新書）も現状と対策を考えていくうえで是非一読していただきたい著作です。	

推薦者	推薦図書				推薦文
教員名	タイトル	著者 出版者 出版年	請求記号	資料番号	
神崎直美	人生の達人・堀文子の生き方	堀文子, 中島良成著 中央公論新社 2021.11	721.9//H87	5202146235	生涯現役で大好きな画業に打ち込み続けた堀文子画伯。堀氏の言葉をその作品と共に堀文子記念館理事の中島氏がまとめた著作です。 堀氏の絵に、何故かなんとなく懐かしさのようなものを抱き続けていました。神奈川県立近代美術館で開催された「白寿記念 堀文子展」を観覧に行き、一連の「くるみわりにんぎょう」の挿絵を目にした時、その謎が解けました。子供の頃、両親が買ってくれたレコードとお話のシリーズ『こども音楽館』の第7巻が「くるみわりにんぎょう」であり、その挿絵を堀氏が描いていたことを、半世紀近くを経て知ったのでした。 堀氏の言葉には1つの道を極めた方ならではのものが多々あります。この著作を読んだ皆さんには、次は是非、堀氏の絵の原物を見に美術館などに出かけていただきたいと思います。
	いないことにされる私たち：福島第一原発事故10年目の「言ってはいけない真実」	青木美希著 朝日新聞出版 2021.4	369.36//A53	5202142208	2011年3月11日の東日本大震災。千年に一度と言われる大地震、そして大津波。安全と言われ続けていた原子力発電所の重大事故で安全神話が崩壊しました。時を経て、東京オリンピック開催を前に復興五輪という言葉が聞かれましたが、むなしく寂然としない思いをした人々も多かったはず。未曾有の大天災とそれに伴う大事故により、未だ大切な故郷を離れ、家族が崩壊し、人生をゆがめられ、苦しい日々を過ごしている人たちがいます。 この書物は読み進めると胸が苦しくなるほどの悲しみと怒りがわき、涙がこぼれます。しかし、私たちは被災者が今なお不条理のもとに苦しんでいることを決して忘れてはなりません。事実を知り、心を寄せることから、まずはじめましょう。
	人生の1冊の絵本	柳田邦男著 岩波書店 2020.2	019.53//Y53	4202001138	絵本は人生で最初に出会う本です。幼少期に親しみますので、絵本は子供のための本、という印象があります。しかし、絵本には人生を支える内容のものが存在しています。決して、子供だけの本ではありません。疲れた心を癒したい時、生きていくことが辛い時に、そっと寄り添ってくれる簡潔な文章と文章を彩る絵が施された絵本を、大学生の皆さんも手にとってみませんか。ノンフィクション作家の柳田邦男氏が大人にお薦めの絵本の数々を紹介してくださいました。皆さんと絵本との再会の契機になる書物です。
	鎌倉殿を歩く：一一九九年の記憶	伊東潤著 歴史探訪社 2022.1	210.42//I89	5202251109	2022年は久しぶりに古都鎌倉が大河ドラマの舞台になった1年でした。多くの「鎌倉本」が刊行された中で、「13人って誰？」「鎌倉…。埼玉から遠いから、行ったことない」とおっしゃる本学の学生さんに「鎌倉入門」としてお薦めします。13人を各1章ずつ、全13章で構成した親しみやすいエッセイ、それらに添えた鎌倉在住の古都写真家原田寛氏による美しい写真の数々を眺めれば、皆さんも「いざ、鎌倉！」となること間違いなし。ドラマは終わっても、ドラマを契機にますます所縁の地が整備された鎌倉は、皆さんを待っています。
	蛸足ノート	穂村弘著 中央公論新社 2023.11.	914.6//H83	5202334938	本書との出会いは帰宅途中に立ち寄る馴染みの書店で、透明プラスチック製のカバーを纏い、独特な色合いと模様の表紙が目飛び込んできたことによります。手に取ってみるとこの装画は江戸時代後期の浮世絵師歌川国芳の「流行蛸の遊び」をコラーージュしたものでした。さらに、帯には「海が似合いませんね」ええ、まあ、と曖昧に微笑みながら、内心は傷ついている。」と…。一体なぜ、海が似合わないと言われたの？、傷ついたなんてかわいそうと、気になり目次で当該箇所を探し読むと、実際には「クスッ」と笑ってしまう内容でした。他の箇所もばらばらと眺めると、様々な心模様が描かれ、「そうそう！」と同感することや、心がほんわりとする話が多々ありました。家に連れて帰ってゆっくり読みたいと思い、即刻購入しました。絡みつく蛸の足の如く、本に捕まえられた…感があります。 著者穂村氏は口語短歌の代表的歌人の1人で、かつ評論やエッセイ、絵本などの分野も手掛り多彩な活躍をしています。本書は読売新聞の夕刊で現在も連載しているエッセイをまとめたものです。見開きで2頁ずつのエッセイは、本を読むことが苦手という方にもきつと息切れせずに楽しみながら読めると思います。

推薦者	推薦図書				推薦文
教員名	タイトル	著者 出版者 出版年	請求記号	資料番号	
神崎直美	金子みすゞと詩の王国 (文春文庫 ; [ま-44-1]).	松本侑子著 文藝春秋 2023.3.	911.58//Ma81	4202308526	私が初めて金子みすゞの名前と詩を知ったのは平成前期の頃、朝日新聞の「天声人語」に紹介された「私と小鳥と鈴と」でした。「みんなちがって、みんないい」で終わるこの詩を繰り返し読み、それぞれの存在を包み込むように受け止める作者の慈愛の心、視点とその展開、心地よいリズム感や言葉の巧みな並べ方に心魅かれたことを覚えています。この記事には詩人矢崎節夫氏がみすゞの詩を全発掘したこと、及び詩集の刊行についても記されていました。それから月日が流れ令和の現在、みすゞとその詩はすっかり著名になりました。松本侑子氏の当著作はみすゞの弟・上山雅輔の日記に出会いこれを検討、さらに童謡詩が大正期に流行したものの昭和に入り衰退した時代・社会・文化的な背景などからみすゞを捉え直しました。その結果、従来、みすゞの人物像は薄幸の詩人という面が目目されがちでしたが、実は知性に溢れ積極的に作品を制作・投稿した、情熱と旺盛な行動力を有した聡明な女性であったことが明らかになりました。みすゞという人物を立体的に描き出した読み応えのある著作です。なお、私が担当するソフオモアセミナーは、学生さんに本を人生の友にさせていただきかけとして読書会をテーマにしており、『金子みすゞ名詩集』(彩図社)を近年、対象本の1冊にしています。この書籍も併せてお薦めいたします。
小山真理子	学びを結果に変えるアウト プット大全	樺沢紫苑著 サンクチュアリ出版 2018	002.7//Ka11	5201847219	いくらたくさん本を読んでも、インプットだけでは成長はありません。「メルマガ毎日発行13年」「Facebook毎日更新8年」「年2~3冊の出版連続10年」「新作セミナー毎月2回以上連続9年」などなど、日本一情報発信し続ける精神科医が公開する、すぐに実践できるアウトプットの極意が満載です！
	ミライの授業	瀧本哲史著 講談社 2016.6	159.7//Ta73	5201825850	学校は未来と希望の工場である。そして君たちは魔法を学んでいる。著者が全国の学校を訪れて開講した特別講義「未来を作る5つの法則」のエッセンスをぎゅっと凝縮。中学生向けと侮るなかれ、大人が読んでも目から鱗！偉人達の生き様に感動の一冊です。
	ゼロから始める都市型狩猟 採集生活	坂口恭平著 太田出版 2010.8	368.2//Sa28	5201427632	〈都市の幸〉で暮らす。『0円ハウス』『隅田川のエジソン』で話題の、自称『建てない建築家』坂口氏による、目からウロコの都市生活方法論！高い解析度を持った目で都市生活を見つめ直すことで、自分の何気ない日常を改めて振り返ることができるでしょう。
	名画の謎 ギリシャ神話篇 旧約・新約聖書篇 陰謀の歴史篇 対決篇	中野京子著 文藝春秋 2011.3	723//N39	5201727338 5201727349 5201727350 5201727361	西洋絵画を見ても、キリスト教やギリシャ神話などに関する知識がないので、何の場面が描かれているのかさっぱりわからない。そんな貴方の頼もしい指南役となる本シリーズ。とにかくわかりやすく滅法面白い。これを読んでぜひ美術館に足を運んでください。
	語彙力こそが教養である	齋藤孝 [著] KADOKAWA 2015.12	814//Sa25	4201601520	「言葉は身の丈」。語彙力が豊かになれば、周りから一目置かれる存在になるだけでなく、見える世界も変わります！古今の名著はもちろん、テレビやネット、SNSなどを駆使した語彙力アップトレーニングが、今すぐできる指南書です。
	一路；上、下	浅田次郎著 中央公論新社 2013.2	913.6//A81//1 913.6//A81//2	5201324570(上) 5201324581(下)	時は幕末、19歳の小野寺一路は、父の突然の死により家督を継いで、江戸への参勤交代を差配することになる。笑って泣ける道行をともに旅しながら、豊かな日本語の美しさに酔いしれてください。山口晃画伯の表紙絵も必見！
	最悪の将軍	朝井まかて著 集英社 2016.9	913.6//A83	5201727372	江戸の昔も、政治は「忖度」で歪められていた？？生類憐みの令で知られる江戸幕府の五代将軍・徳川綱吉の、知られざる劇的な生涯を描いた傑作長編。現代の私たちが動物を愛する心を持ち、ペットと幸せに暮らせるのは、実は彼のおかげかもしれません。

推薦者	推薦図書				推薦文
教員名	タイトル	著者 出版者 出版年	請求記号	資料番号	
小山真理子	活版印刷三日月堂	ほしおさなえ著 ポプラ社 2016-2018	913.6//H92	4201906620 4201906631 4201906642 4201906653 2000134908 2000134909	古びた印刷所「三日月堂」が営むのは、一文字一文字活字を拾って印刷する昔ながらの活版印刷。仕事を依頼に訪れる様々な人たちの物語を通して、人が生きる意味、働く意味を考えさせられます。本学からもほど近い東上線の小江戸・川越が舞台です。 ※飯田橋には「印刷博物館」があり、そこでは活版印刷の体験やワークショップなども行われています。
	青が散る	宮本輝著 文藝春秋 1982.1	913.6//Mi77	0084085554	新設大学のテニス部員たちを主人公とした、「定番中の定番」ともいえる青春小説。若さの持つ喜びや悲しみ、輝きや苦渋などが、今まさに学生生活を謳歌する皆さんの胸にストレートに響くと思います。大学時代の今読まなくていつ読むの？という一冊です！
	また、桜の国で	須賀しのぶ著 祥伝社 2016.1	913.6//Su21	5201825849	第二次世界大戦が勃発しナチス・ドイツに蹂躪される欧州を舞台に、ショパンの名曲『革命のエチュード』が繋ぐ日本とポーランドの知られざる歴史秘話。本学にも毎年交換留学生が訪れている「ポーランド」という国の深い魅力に、ぜひ触れてみてください。
	入門・やさしい日本語：外国人と日本語で話そう	吉開章著 アスク出版 2020.7	817.8//Y89	4202211826	日本語を学ぶ外国人には、英語でなくやさしい日本語で話せばいい、と気づくだけで、外国人と話せる機会が増えます。ただ、やさしい日本語はあなたが話す日本語と少し違います。ちょっとしたコツが必要です。あなたもやさしい日本語を学んで、外国人と日本語で話してみませんか？
	黨家の兄弟	砂原浩太郎著 講談社 2022.1	913.6//Su73	5202232515	主人公は17歳の武士。神山藩で代々筆頭家老の黨家。穏やかな青春の日々を過ごしていた三男の新三郎は、大目付を務める黒沢家に婿入りし政務を学び始める。そんな中、黨家の未来を揺るがす大事件が起こり、その理不尽な顛末に三兄弟は翻弄されていく。同年代のみなさんに今こそ読んでほしい清冽な時代小説です。
	パチンコ(上)(下)	ミン・ジン・リー著；池田真紀子訳 文藝春秋 2020.7	933.7//L51//1~2	5202234904 5202234915	日本に併合された朝鮮半島、釜山沖の影島。下宿屋の娘キム・ソンジャが出会ったのは、日本との貿易を生業とするハンスという男だった。1910年の朝鮮半島で幕を開け、舞台は大阪、そして横浜へ。四世代にわたる在日コリアン家族の苦闘の歴史を描き、世界中の読者を感動させた韓国系アメリカ人作家の渾身の大作。
清水昭男	天才！：成功する人々の法則	マルコム・グラッドウェル著；勝間和代訳 講談社 2014.1	159//G48	5201514616	「天才=成功者は状況の産物である」という趣旨の本で、いわゆる「How to」ものではありません。「個人の努力・才能」という変数をゼロとして天才という方程式を解くところなる、、、。作者の頑なな理論展開が本当に楽しい一冊です。
	フラット化する世界：経済の大転換と人間の未来；上、下	トーマス・フリードマン著；伏見威著訳 日本経済新聞出版社 2008.1	361.5//F47//1 361.5//F47//2	5200822014(上) 5200822025(下)	経済格差を前提としたグローバル化ではなく、標準化が前提となってくる21世紀的なグローバル化を觀察／展望した一冊です。2004年までの「世界同時経済成長」を背景に書かれていますが、ここで示されている方向感把握しておきたいですね。
	フリー：「無料」からお金を生み出す新戦略	クリス・アンダーソン著；高橋則明訳 日本放送出版協会（NHK出版） 2009.11	675//A46	5201514627	裾厚（Fat Tail）の時代のマーケティング戦略をセンサーショナルなタッチと実例でまとめ、富を生み出す背景変化を解説した一冊です。発売と同時に（米国2009年）に、ビジネス界ではMust Readとして意識され、一般図書としてもBest Sellerとなりました。

推薦者	推薦図書				推薦文
教員名	タイトル	著者 出版者 出版年	請求記号	資料番号	
清水昭男	マンガ学：マンガによるマンガのためのマンガ理論	スコット・マクラウド著；海法紀光訳 美術出版社 1998.10	726.101//Ma13	5201515560	マンガとComicsは必ずしも同じではないので、訳書のタイトルは不正確だと思いますが、連続するコマ(絵)を読者のイメージネーションに依存してつなげていくことによって、最終的にストーリーを紡ぎ出そうとする点で、両者は同じです。連続する不安定な飛び石を渡った読者が、最終的に一様な印象を得るとこのアートフォームには、メッセージを正確に／効果的に届けるための「お約束(理論)」が存在します。

〈経営学部〉教員おすすめ図書 一覧

推薦者	推薦図書				推薦文
教員名	タイトル	著者 出版者 出版年	請求記号	資料番号	
篠原康男	データ視覚化のデザイン = Data visualization design	永田ゆかり著 SBクリエイティブ 2020.4	007.6//N23	5202014485	何かを伝えるときに、具体的な数字やデータがあると説得力が上がります。そして、その数字やデータを視覚的に「見せる」ことができれば、その数字やデータが持つ意味をより理解する手助けになります。本書を通じて、数字やデータを「魅せる」こともぜひ意識してもらえれば幸いです。
	数学的に話す技術書く技術 : 文系の人も使える!	曾布川拓也, 山本直人著 東洋経済新報社 2021.10	410.4//So12	5202140649	「文系(≡経営学部)には数学はいらない」という人、数学や数字そのものに対して苦手意識を持つ人にこそ、おススメしたい本です。数学はあくまで「ツール」であり、何に役立つかではなく、身の回りの現象や仕事にどう活かしていくかを考えてみると、今まで気づかなかったことが見えてくるはずです。
田部溪哉	転換期を生きるきみたちへ : 中高生に伝えておきたい たいせつなこと	内田樹編 島文社 2016.7	304//U14	5201725201	人口が減っていく社会は、今生きている人々が体験したことのない、未知のものです。これから先を生きていかなければならない君たちが知っておかなければならないことを、11人の著者たちが解説しています。
	ローカリズム宣言 : 「成長」 から「定常」へ	内田樹著 テコ 2018	304//U14	5201817510	「厳しい競争社会でどう生き残るか?」という論調で煽る人はたくさんいますが、私は生きることって誰にでもできるくらい簡単でなきゃいけないと思いますね。いま「何か生きづらいなあ」と思っている人、この本で生きづらさは解消しないでしょうが、何で生きづらいのかを掴むヒントは得られると思います。
	先生はえらい	内田樹著 筑摩書房 2005.1	370.4//U14	4200808889	先生である私からお薦めしにくいタイトルですが…。みなさんは今「学ぶ」という行為と関わることを避けられません。ここで、「学んで得られるもの」と「それを得るための対価」を天秤に掛けて、勉強するかどうかを決めていますか。この考え方が正しいと思った人に、この本を読むことをお勧めします。
	絵本アイビー図鑑	穂積和夫著 万来舎 2014.12	589.2//H97	5201822540	「ファッションにルールはない」。その是非はさておき、歴史はあります。1960年代の日本では、若者の間でアイビースタイルが活況だったそうです。この本は、彼らの着こなしをイラストとともに解説しています。ここで紹介されている格好の大学生はもういないかもしれませんが、品の良い服装、着合わせの基本を理解できます。
	世代×性別×ブランドで切る! : 3万人調査が語るニッ ポンの消費生活	マクロミルブランドデータバンク 著 日経BP社 2017	675.2//B91	5201916097	おじさんとカラオケに行く时必须やジェネレーションギャップを感じます。好きなアーティストが世代で違うように、好きなスポーツ、持っているブランド、乗っている車なども違うものです。それでは実際どのくらい違うのか、3万人以上に行なったアンケートの結果をまとめたのがこちらの本。眺めるだけでも面白いです。
	レポート・論文をさらによく する「書き直し」ガイド : 大 学生・大学院生のための自 己点検法29	佐渡島紗織, 坂本麻裕子, 大 野真澄編著 大修館書店 2015.12	816.5//Sa13	5201652248	大学ではレポートの作成を求められる機会がたくさんあります。うまく仕上げるためのコツの一つは、一度書いた文章を見直して、修正することです。この本には、一度書いたレポートをどのように見直せばよいかについて、ポイントがまとめられています。

推薦者	推薦図書				推薦文
教員名	タイトル	著者 出版者 出版年	請求記号	資料番号	
千葉佳裕	ゾーンの入り方	室伏広治著 集英社 2017.10	780.7//Mu72	4201711998	「周りの人間が止まって見える」「ボールが止まって見える」このような極限の集中状態を「ゾーン」と言います。一流のスポーツ選手は意識的にこの「ゾーン」に入ることができると言われていています。この本はアテネオリンピックハンマー投で金メダルに輝いた室伏広治選手のゾーンの入り方について書かれた著書です。アスリートなら必ず手にとりましょう。

〈現代政策学部〉教員おすすめ図書 一覧

推薦者	推薦図書				推薦文
教員名	タイトル	著者 出版者 出版年	請求記号	資料番号	
飯塚智規	来るべき民主主義：小平市 都道328号線と近代政治哲 学の諸問題	國分功一郎著 幻冬舎 2013.9	318.8365//Ko45	4201406204	議会制民主主義には、行政権に係わる仕組みがない本書は、筆者が係わった地元の住民活動や道路問題を通して、民主主義と行政の仕組みの今日的問題を明らかにしている。
	震災復興における被災地 のガバナンス：被災自治体 の復興課題と取り組み	飯塚智規著 芦書房 2013.7	369.31//I28	5201427621	震災からの復興のためには、地元行政や被災者、ボランティアやNPO、国や近隣自治体などの様々なステークホルダーが政策に係わる必要がある。本書から彼らの様々な活動を理解してもらいたい。
	大学生のためのレポート・ 論文術	小笠原喜康著 講談社 2009.11	816.5//O22	4201007597	大学生、そして社会人のとって必須の能力の一つとして、文書作成がある。本書はレポート論文を書くための、お作法から始まり、執筆手順や資料収集方法も網羅されている。
市川直子	The constitution of Japan : a contextual analysis	Shigenori Matsui Hart Pub. 2011	323.14//Ma77	5201657425	英語を母語とする学生や留学を希望する学生には特にお勧めです。同著者の『日本国憲法』と合わせて読むと、理解が一層深まるでしょう。 *「日本国憲法」松井茂記著 第3版 有斐閣、2007.12 323.14//Ma77//三輪(睦)(3階シラバスルーム)
	裁判百年史ものがたり	夏樹静子著 文藝春秋 2010.3	327.02//N58	9201004156	推理小説家が目をつけた「事実の面白さ、裁判の深さ」を実感しながら、明治以降の著名な事件・裁判を読み進めていくことができます。
大園陽子	生きていくあなたへ：105歳 どうしても遺したかった言葉	日野原重明著 幻冬舎 2017.9.	159//H61	5201758154	聖路加国際病院の医師であった105歳の著者が、目をつむり、混濁する意識の中で、私たちに語られた19ページの最後のメッセージ(2017年1月31日)が収録されています。生きていく私たちへの温かいメッセージが何度読んでも心に響き、涙ぐんでしまいます。山中伸弥氏(2012年ノーベル生理学・医学賞)もこの本を薦めておられます。
	成功する人は偶然を味方 にする：運と成功の経済学	ロバート・H.フランク著；月沢 李歌子訳 日本経済新聞出版社 2017.3.	331.04//F44	5201732095	2018年1月の図書館報(vol.108)のBookMarkで私が紹介した本です。コーネル大学ジョンソンスクール経済学教授の著者は、「ささいな偶然が人生を変える」、「才能があっても努力しても、運なしでは勝てない」と述べています。偶然や運、社会全体の幸運度を上げることに興味深い考察がなされており、人生を紡いでいく際のヒントがたくさんつまっています。
	人生がときめく片づけの魔 法	近藤麻理恵著 サンマーク出版 2011.1.-.	597.5//Ko73	5201758165 5201758176	著者の教えに従い、引っ越しの際、新しい部屋の1か所に全部の荷物を並べ、ときめくか、ときめかないかをひとつ、ひとつ手に取って判断しました。ときめくものだけを残して、物を収納したところ、きれいに片づけ、リバウンドもしていません。片づけにとどまらない人生の魔法として、40カ国以上で翻訳され、シリーズ累計800万部突破の大ヒットのようです(2017年12月時点)。
土屋正臣	状況に埋め込まれた学習： 正統的周辺参加	ジーン・レイヴ、エティエンヌ・ ウエンガー著；佐伯胖訳 産業図書 1995.1	141.33//L38	5201824520	学習とは個人で完結しない。筆者らは仕立屋や操舵手、産婆などの5つの徒弟制度を分析し、学習とは共同体への参加過程であり、初めは周縁的だが、段階的に関りを深め、複雑さを増してくるものだとした。実践的な場に参加する学びは、大学での学びそのものである。なぜ大学生はレポートを書き、発表しなければならないのか、その答えの一つがここにある。

推薦者	推薦図書				推薦文
教員名	タイトル	著者 出版者 出版年	請求記号	資料番号	
土屋正臣	監獄の誕生：監視と処罰	ミシェル・フーコー [著]；田村 徹訳 新潮社 1977.9	326//F42	1000216955	パノプティコンとは円形監獄である。この監獄では、「見られてはいても、こちらには見えない」、「収監されている人は、常に自分が監視されていると自覚することで、自発的に自己を統制するようになる」という特徴があり、病院における患者、学校における児童・生徒、職場における労働者にも当てはまる。近代システムを考える上で示唆に富む名著である。
	貧乏人の経済学：もういちど貧困問題を根っこから考える	アビジット・V・バナジー、エスター・デュフロ [著]；山形浩 生訳 みすず書房 2012.4	331.87//B18	5201450847	貧困といえば、明日の食事にも事欠く人々の問題でしょうか。実は世界の貧困問題の実態は異なっています。食糧支援金は多くの食糧の購入ではなく、より高価な食糧の購入に充てられてしまいます。著者は、貧困問題の解決には、政治体制、宗教、慣習といった多領域にわたる改革が必要だと述べています。食糧や金銭的な援助を行えさえすれば、貧困問題が解決するというのは、誤りなのです。
	豊かさ幻想：戦後日本が目指したもの	森正人著 KADOKAWA 2019.3	210.76//Mo45	5202126275	戦後、日本人は開発によって豊かさを手に入れると信じてきました。しかし、実際には環境破壊、経済格差といった社会のひずみを生みだしてきました。それでもなお、今日も豊かさという幻想を追いかけて、ひたすら走り続けているのではないでしょうか。今後の私たちの暮らしや政策のあり方を考える上で、本書は多くの示唆を与えてくれます。
	綿の帝国：グローバル資本主義はいかに生まれたか	スヴェン・ベッカート著；鬼澤 忍、佐藤絵里翻訳 紀伊國屋書店 2022.12.	586.22//Y83	5202331081	綿は、家庭内の伝統的な織物の原料として使われてきた。しかし、16世紀になると、資本主義社会の成立とともに、世界商品として流通するようになった。そこでは、栽培の労働力としての奴隷貿易や植民地支配など、暴力と支配を伴っていた。本書は、膨大かつ詳細な資料を用いて、綿の帝国が描き出され、今日のグローバル資本主義の成立過程を考える上で重要な示唆を私たちに与えてくれる。
真殿仁美	あなたのその苦しみには意味がある	諸富祥彦著 日本経済新聞出版社 2013.7	146.8//Mo77	4201414135	誰も苦しみを経験していますね。その経験している苦しみには意味がある、と著者は本書の中で述べています。人はさまざまな苦しみを通して、自己変容の道へと歩み出していくそうです。本書から苦しみの意味を悟ってください。
	「昔はよかった」と言うけれど：戦前のマナー・モラルから考える	大倉幸宏著 新評論 2013.1	150.21//O57	5201429042	時代をさかのぼって、戦前のモラルやマナーについて知りたい人はぜひ、読んでください。一読の価値あります。
	世界名言集	岩波文庫編集部編 岩波書店 2002.5	159.8//I95	5201429031	言葉の持つ深さを味わうことができる書籍です。この名言集を通して、多くの言葉に出会ってください。
	あなたは、あなたでいい：焦らない、比べない	川村妙慶著、高村あゆみ絵 PHP研究所 2009.9	188.74//Ka95	4201406692	辛いとき、しんどいとき、または心のバランスを崩しそうになったとき、本書を手にとって読んでみてください。
	よくわかる慰安婦問題	西岡力著 草思社 2012.12	210.75//N86	4201406807	きわめて丁寧に検証し、知らなかった事実を発信している書籍です。ぜひ読んでみてください。
	ホセ・ムヒカ：世界でいちばん貧しい大統領	アンドレス・ダンサ、エルネスト・トウルボヴィッツ [著]；大 橋美帆訳 KADOKAWA 2016.3	289.3//D39	4201601336	本書は、2012年にリオデジャネイロで開かれた「持続可能な開発会議」でスピーチをし、一躍有名になった第40代ウルグアイ大統領ホセ・ムヒカ氏の軌跡について記されています。本書を通して、リアリズムを追求した氏の生き方に触れてみませんか。

推薦者	推薦図書				推薦文
教員名	タイトル	著者 出版者 出版年	請求記号	資料番号	
真殿仁美	教養としての政治学入門	成蹊大学法学部編 筑摩書房 2019	311.04//Se17	4201900247	「政治」ってなんだろう？ 皆さんはこんな疑問を感じたことはありませんか？この書籍では、権力者は信頼できるか(30頁)、公務員の天下りはなぜなくなる(65頁)、産業構造の転換と「ちびだら飲み」コーヒー(249頁)、トランプ政権誕生の背景(284頁)など、さまざまな視点から「政治」を論じています。楽しく読めます。読むことができる「政治」本です。
	アメリカ政治講義	西山隆行著 筑摩書房 2018	312.53//N87	4201803341	いま何かと話題になっているアメリカに注目してみましょう。アメリカは2020年に大統領選挙を控えています。本書はアメリカの政党や選挙制度、投票権など大統領選挙に関する詳細な内容に加え、アメリカ社会が抱える不法移民、医療保険、貿易摩擦などのさまざまな課題についても、丁寧にわかりやすく解き明かしてくれます。この書籍を通して、アメリカへの理解を深めていきましょう。
	中国4.0：暴発する中華帝国	エドワード・ルトワック著；奥山真司訳 文藝春秋 2016.3	319.22//L97	4201601358	本書では「新型大国関係」(G2)は、誰が考えだしたのか、なぜ、アメリカはG2を受け入れなかったのか、について興味深い分析が示されています。中国の次の戦略を読み解くうえで、また、私たちが「戦略の論理」を突き詰めて考えるうえで、本書は重要な役割を果たしてくれるでしょう。
	世界はなぜ社会保障制度を創ったのか：主要9カ国の比較研究	田多英範著 ミネルヴァ書房 2014.4	364.02//Ta16	5201435222	「社会保障制度とは何か」という根本的な課題を解き明かしたくなったらぜひ、この書籍を読んでください。
	親を、どうする？	小林裕美子著 実業之日本社 2013.11	367.7//Ko12	4201808244	この先、親や兄弟姉妹との関係について、考えたことはありますか？この書籍は、これから誰もが経験することをイラストで紹介しています。
	シニアが輝く日本の未来	三菱総合研究所著 丸善プラネット 2013.11	367.7//Mi63	5201529361	本書には「ブラチナ社会」を構築していくためのヒントがたくさん示されています。なかでも、マズローの欲求5段階説を超高齢社会の文脈にあてはめてとらえなおしている点が興味深いです。この本を読んで一緒に「ブラチナ社会」について考えていきましょう。図表や写真がふんだんに盛り込まれ、読みやすい書籍ですよ。『Phronesis』シリーズは、他にも多数刊行されています。
	2030年超高齢未来 破綻を防ぐ10のプラン	東大ジェロントロジーコンソーシアム著 東洋経済新報社 2012.9	367.7//To46	5201259946	超高齢社会をどのように受けとめ、考えるべきかを指し示す良書です。読後は「高齢」の概念ががらりとかわるでしょう。
	街場の教育論	内田樹著 ミシマ社 2008.11	370.4//U14	5201527815	現代社会において「教養」とは一体、何を意味しているのでしょうか。また「専門」や「専門家」という言葉は、どのように解釈すればよいのでしょうか。本書はこれらの言葉について、丁寧に解説しています。ぜひ読んでみてください。著者による『街場』シリーズはこの『教育論』以外にも、『中国論』や『アメリカ論』などもあります。
	経済学部タチバナキ教授が見たニッポンの大学教授と大学生	橋本俊詔著 東洋経済新報社 2015.1	377.1//Ta13	5201529372	帯の表現が強烈だったので、手に取ってみました。著者は本書の中で「大学」という知の拠点を、批判的に検証しています。厳しい言葉が並んでいますが、大学がいま、どのような状況に置かれているのかを知るには、興味深い書籍です。

推薦者		推薦図書			推薦文
教員名	タイトル	著者 出版者 出版年	請求記号	資料番号	
真殿仁美	知のバリアフリー：「障害」で学びを拡げる	嶺重慎, 広瀬浩二郎編 京都大学学術出版会 2014.12	378//Mi43	5201527303	本書は、大学が「障害」や「障害学生」とどのように向き合っていくのか、について考えさせてくれます。「支援を乗り越えて、知のバリアフリーを目指す」とは一体、何を意味しているのでしょうか。本書から「障害」で学びを拡げる」(副題)機会につなげていってください。
	化粧の日本史：美意識の移りかわり	山村博美著 吉川弘文館 2016.6	383.5//Y32	5201635974	「化粧」って何のことでしょうか？この書籍では、古代から現代までの「化粧」の変遷を詳しく解明かしています。「化粧」について知りたい人におすすめの一冊です。
	熊：人類との「共存」の歴史	ベルント・ブルンナー著；伊達淳訳 白水社 2010.9	489.57//B78	5201732858	最近、熊の目撃が相次いでいる、と報道されていますね。そもそも、熊はどのような生き物なのでしょうか。本書は、熊と人間の歴史を振り返りながら、両者の関係や共通点などを丁寧にひも解いています。ぜひ、本書から熊と人間の関係について学んでみてください。
	パンダが来た道：人と歩んだ150年	ヘンリー・ニコルズ著 白水社 2014.2.	489.57//N71	5201730812	2017年6月12日、上野動物園でパンダが誕生しました。パンダの誕生は人々に大きな喜びをもたらしました。パンダの誕生による経済効果は200億以上との試算も出されています。人はなぜこれほどまで、パンダに魅せられるのでしょうか。本書を通じて、パンダの不思議を解明してみませんか？
	認知症カフェ読本：知りたいことがわかるQ&Aと実践事例	矢吹知之著 中央法規出版 2016.4	493.758//Y12	5201834522	住まいの近くにある認知症カフェ(おれんじカフェ)、に行っことはありますか？おれんじカフェは、地域に暮らす誰もが参加することができます。そのおれんじカフェについて詳しく知りたい人はぜひ、この書籍を読んでみてください。
	強制不妊：旧優生保護法を問う	毎日新聞取材班著 毎日新聞出版 2019	498.25//Ma31	5201926260	2019年4月「旧優生保護法に基づく優生手術等を受けた者に対する一時金の支給等に関する法律」が成立しました。優生保護法が母体保護法に改められたのは1996年のことです。21世紀への入り口の手前まで、なぜこの法が存在してきたのでしょうか。強制不妊手術を受けさせられた人たちは、どのような思いで過ごしてきたのでしょうか。本書を通じて闇のなかにある実態に目を向け、この問題にどのように向き合うのかを考えていきましょう。
	じつはもっと怖い外食：外食・中食産業の最前線で聞いた「危険」すぎる話	南清貴著 ワニ・プラス 2016.2	498.54//Mi37	4201601347	“安いものばかりを追い求める消費の形態が、じつは大事なものを失っていくことに加担しているのではないか・・・(略)・・・この構造を変えない限り、私たちは本当の幸せをつかむことはできない・・・”(本書116頁)。読後、著者のこの言葉が印象に残りました。目の前の食べ物や口にいれる前に、本書を読んで「食」について真剣に考えてみませんか。
柳澤智美	政策学入門：私たちの政策を考える	新川達郎編 法律文化社 2013.7	301//N72	5201354087	今年、教科書にしようと考えたが値段が少し高く、学生に買わせるには厳しいかと思い見送りましたが、内容もわかりやすくまとまり、読むたびに新しいことを考えさせられる本です。
	楊家将 上・下	北方謙三著 PHP研究所 2006.7	913.6//K165//1 913.6//K165//2	4201407114(上) 4201407125(下)	この本を読むと本当に楊家という1人の生き方がステキで史実とはかなり違って素晴らしいとしか言えませんでした。あこがれてしまいます。こんな生き方が出来たらと考えてしまいます。
	インフェルノ 上・下	ダン・ブラウン著；越前敏弥訳 KADOKAWA 2013.11	933.7//B77//1 933.7//B77//2	5201358924(上) 5201358935(下)	ストーリーも楽しいのですが、何よりも、人口問題はこんなにも人の心を悩ますのかと考えさせられました。人の選択や善意の否定の難しさを知ることが出来ます。

〈理学部数学科〉教員おすすめ図書 一覧

推薦者	推薦図書				推薦文
教員名	タイトル	著者 出版者 出版年	請求記号	資料番号	
小木曾岳義	「大発見」の思考法：iPS細胞vs.素粒子	山中伸弥, 益川敏英著 文藝春秋 2011.1	404//Y34	5201245869	この本は、2008年にノーベル物理学賞を受賞した益川敏英先生が、2012年にノーベル生理学賞を受賞した山中伸弥先生に次々と鋭い質問をしていく形で、展開して行く、対話型の形式でまとめられている本である。この本の中で、特に面白かったのが、セレンピリティーについての議論と、失敗談である。(ちなみに、この本の出版は2011年で、この時、山中先生はまだ受賞をしていません。)
	攻める健康法：“守り”におさらば!たぎる肉体を取り戻せ	三浦雄一郎著 双葉社 2015.2.	498.3//Mi67	4201500038	大きな目標を達成するために、どの様に準備をし、どの様な心構えで望むかということが書かれている。登山に限らず全ての大きな目標にチャレンジしていくことに通じる内容が、大変ユーモアたっぷりの文章で語られている。幸運にも今年3月に著者にお招き頂く機会があり、80代とは思えない若い考えと肉体をお持ちの方だと感じた。

〈理学部化学科〉教員おすすめ図書 一覧

推薦者	推薦図書				推薦文
教員名	タイトル	著者 出版者 出版年	請求記号	資料番号	
石川満	アメリカからの「宣戦布告」 (GHQ 焚書図書開封 ; 9)	西尾幹二著 徳間書店 2014.3	023.8//N86//9	5201435211	日本は1941年に米国と戦争を始めて45年に敗北した。なぜ、日本(米国)は米国(日本)と戦争したのか。当時の日本の立場を著した書籍は米国の政策によって、終戦直後、日本国民の目から封印されてしまった。本書を含めた1~9巻には、日米開戦に至るまでの経緯を含む戦前の日本の国際的立場が克明に記されている。今日の米国の対日外交、TPP交渉など、における時代を越えた対日政策の根幹を理解するためにも本書(第9巻)は極めて有用である。
	フーリエの冒険	トランスナショナルカレッジオ ブレイクス編 言語交流研究所ヒッポファミ リークラブ 2013.7	413.59//To66	5201435255	本学生も含め、数学を使う立場の理工系なのに数学の学習に抵抗感を抱いている学生は少なくないでしょう。その原因のひとつは、一般に数学書の記述が無味乾燥なことが挙げられます。無味乾燥とは「定義あるいは公理→定理の証明→例題→演習問題」という流れであり、“なぜそのような考え方や方法が必要か”や“何があるがたいのか”といった十分な説明がないことを指します。本書は無味乾燥とは一味違う数学書なので、化学・薬学生に一読を薦めます。
宇和田貴之	陰謀の日本中世史	呉座勇一著 KADOKAWA 2018.3	210.4//G74	4201807447	事実は往々にして複雑であり単純化して語ることは難しいものだが、そんなことはお構いなしに断言してくれるのが自然科学では似非(エセ)科学であり歴史では陰謀論である。それらは単純すぎるほどの「わかりやすさ」や信じたいことを信じさせてくれる「心地よさ」のために人気があるが、当然真実ではない。本書は本能寺の変や関ヶ原の戦いなど日本史で人気のある事項について、最新の学説を紹介しつつこれらについての陰謀論を批判・論破し、最後にはなぜ陰謀論が跋扈(パッコ)するかを検証している。ある程度歴史の事前知識は必要になるが、これを読めば似非科学も含めて「わかりやすさ」「心地よさ」に騙されないようになる、かもしれない。それをリテラシーといって大学生に求められるものだと思う。
	三国志きらめく群像	高島俊男著 筑摩書房 2000.11	222.043//Ta54	4201621374	歴史の入門に最もよいのは優れた歴史物語を読むことで、その次の段階がいろいろな資料を検討して多面的に歴史を捉えることです。中国・三国志の物語(三国志演義)、正史(正統な歴史書)、その注釈など多くの文献に精通した著者が三国志の英雄の実像を列伝形式で紹介します。物語以上の奥深さを感じることでしょう。三国志の好きな人は是非読んでみてください。というか、三国志を知らないとなんの面白味もわからない、第二段階の本です。
	大東亞科學綺譚	荒俣宏著 筑摩書房 2011.11	402.8//A64	5200739023	つい数十年前まで、科学はプロジェクトで行うものではなく、もっと個人的な営みであった。それゆえ研究者の個性を直接反映するものであった。本書ではそんな時代の日本の科学者として、アジア初のロボットを作った西村真琴、星新一の父で星製薬創立者の星一、不良華族にして鳥類学者・蜂須賀正氏などを紹介している。彼らの生き様に科学に魅せられたものに通底する爽やかさを感じとることだろう。

推薦者	推薦図書				推薦文
教員名	タイトル	著者 出版者 出版年	請求記号	資料番号	
宇和田貴之	誰も教えてくれなかった実験ノートの書き方：研究を成功させるための秘訣	野島高彦著 化学同人 2017.7	407.//N93	5201740701	記憶とは思いの他あやふやなもので、都合よく思い込みをしていたり、肝心なことを忘れてしまったり、また時間が経つと薄れてゆくものです。忙しいとなおさらです。そこでどんなことも書き留めて記録することが重要になりますが、それを学ぶ良い機会が理系ならば実験ノートです。単に実験条件や結果をメモするだけではなく、計画や考察やアイデアを文章としてまとめることで、見返したときに実験を頭の中で再現できて様々なことに気づかされ、今後の指針も立てやすくなります。そんな役立つ実験ノートの書き方を教えてくれるのがこの本で、これを通して学んだ記録術は仕事においても応用できるものになるでしょう。
	化学の歴史	アイザック・アシモフ著；玉虫文一、竹内敬人訳 筑摩書房 2010.3	430.2//A92	5201614695	著者は銀河帝国興亡史などでSF小説の大家として知られているが、元々は化学者(専門は生化学)。大学で学ぶ学問を歴史の中に置き直し、その学問が成長するにあたっての人類のモチベーションを知ると学ぶ意欲も高まるものと思うが、本書は化学を学ぶ学生にその成立過程を教える、いわば化学興亡史。多彩な登場人物が少しずつ化学を発展させてゆく様は一つの大きな物語であり、君たちも将来そこに登場できる、と信じて学んで欲しい。
	スパイス、爆薬、医薬品：世界史を変えた17の化学物質	ペニー・ルークター、ジェイ・パーレサン著；小林力訳 中央公論新社 1991.5	430.2//L46	5201316923	人類の歴史の各段階、例えば大航海時代、産業革命、帝国主義のそれぞれにおいて大きな役割を果たした“分子”をその構造式とともに解説している。歴史を化学の視点から見つめなおした良書である。同時に、天然物由来の分子の“発見”から需要が生まれ、その結果として天然物と全く同じか改良した分子を人類が合成することに成功した例の紹介にもなっており、化学史の観点からも示唆に富んでいる。
	これだけは知っておきたい化学実験セーフティガイド	日本化学会編 化学同人 2006.3	432.1//N77	5201652556	化学の実験では安全と環境に十二分に配慮しなければいけません。これは大学でも企業でも同じことです。しかし、それを疎ましく思っはけません。その安全と環境への配慮をよく理解することは、化学という学問の奥深さを理解することと同じ意味を持ちます。化学は役に立つものだからこそ危険を伴うということです。日本化学の総本山がまとめたセーフティガイド、一度目を通して損はないと思います。
	雪	中谷宇吉郎著 岩波書店 1994.1	451.66//N44	0095038413	ファーブル『昆虫記』、ファラデー『ロウソクの科学』と並ぶ科学読物が、この中谷宇吉郎『雪』である。著者の天然雪の観察に始まる雪に関する研究を紹介した内容となっているが、興味を惹くのは研究そのものよりも、これを例に紹介される科学研究の「方法論」。テーマ選びから問題設定、実験、データのまとめ方、考察まで、一流の研究者がいかんにして研究を進めるかを丁寧に見せてくれている。研究職に興味がある学生に推薦したい。
	牧野富太郎：なぜ花は匂うか	牧野富太郎著 平凡社 2016.4	470.4//Ma35	5201724665	牧野富太郎は明治時代から昭和初期にかけて活躍した植物学者で、「日本植物学の父」と呼ばれています。日本全国を採集旅行をして歩き数多の新種を見つけ分類すると同時に、植物図鑑を作り日本の植物の豊かさを広めた大功労者です。一方でこの方、小学校中退という、今では絶対に考えられない経歴の持ち主でもあります。それでも大学者になれたのは、黎明期ならではの面白さではありますが、それだけ彼が国民に人気があった証拠でもあります。その彼の人気一端がエッセイに垣間見えます。科学的であるのみならず、万葉集などを引用する詩心、四季への高い感性が垣間見え、幅広い教養と植物への愛情が伝わってきます。さすがに時代がかった文章で今の若者には読みづらいとは思いますが、彼の「写真を越えた」と言われる特徴を捉えた植物のスケッチだけでも見る価値があります。

推薦者	推薦図書				推薦文
教員名	タイトル	著者 出版者 出版年	請求記号	資料番号	
宇和田貴之	ねじとねじ回し：この千年で最高の発明をめぐる物語	ヴィトルト・リブチンスキ著； 春日井晶子訳 早川書房 2010.5	531.44//R93	4201704318	1543年に鹿児島・種子島にポルトガル人によって鉄砲が伝えられ、当時の日本人はそれを国産化しようと躍起になりました。しかし、鉄の加工の得意な日本人でも困ったのが、銃身をふさぐネジでした。溶接のフタでは火薬の爆発に強度的に耐えられないためどうしてもネジが必要だったのですが、そもそもそれまで日本、いや東洋にはネジがありませんでした。つまり、鉄砲の伝来は西洋からのネジの伝来でもあったのです。この本はそのネジを、西洋の機械文明を支えたこの千年で最高の発明として起源を調べています。単なるネジの話と思いきや、西洋の文明史としてとても面白く展開するスリリングな読み物です。
	ゼロからトースターを作ってみた結果	トーマス・トウエイツ[著] 新潮社 2015.10	545.88//Th9	4201704227	イギリス大学院生が、卒業研究としてパンを焼くトースターを「一人で」「完全に一から」作ろうとした過程をブログで公開し、それをまとめた本です。パンを焼くだけにしか使えないトースターだって、鉄やマイカやプラスチックなど多くの原料からできています。著者は全ての原料をまず「採掘」(！)するところから始めそれを「精製」し、「加工」して部品にしてゆきますが、この過程一つ一つがとてつもなく困難であることが、彼の体を張った失敗からよくわかります。人類はその困難を一つ一つ乗り越えてきたのです。皆さんの手元の工業製品が、いかに多くの人の手を経て完成したものであるか、多くの人の知恵の結晶であるか、よくわかると思います。
	マネー・ボール	マイケル・ルイス著；中山宥 訳 早川書房 2013.4	783.7//L59	4201502962	アメリカ・メジャーリーグにおいて、選手能力の統計学的な解析(セイバーメトリクス)を採用したオークランド・アスレチックスのGMビリー・ベーンを中心に描いたノンフィクション。仕事をする上では数字こそが最も重要で、数字を元に判断することで経験や勘に頼らない合理的なマネジメントが可能となる。この本が描くのはその野球における実践。いずれ動く学生みんなに読んで欲しい。
	ルポ電王戦：人間vs.コンピュータの真実	松本博文著 NHK出版 2014.6	796//Ma81	4201502973	将来、人間の仕事の多くが機械に置き換えられるといわれている。例えば車の運転も自動化される見通しと言えばその現実味がわかるだろうか。そんな未来の現実今の時点で矢面に立っているのがプロの将棋棋士であり、彼らは機械学習により格段に進歩した人工知能と対決しているが、旗色は良くない。機械が人間を上回る将来、人間は何を学んでどう生きるべきかの示唆を与えてくれる良書。
	誰も語らなかつたジブリを語ろう 増補版	押井守著 東京ニュース通信社 2021.8	778.77//O76	5202126264	皆が当然知ってる宮崎駿の映画ですが、あまりに偉大すぎてなかなか批評の対象にならないものです。そこで宮崎駿と古くから付き合いもあり多くの因縁もある映画監督の押井守が、専門家としての見地と付き合いがなせる遠慮のなさや業界人だから知る裏事情をもとに、今まで気が付かなかったような新鮮な見方を提供してくれます。その新鮮な見方が批評というものの意義です。つまり批評入門としてどうぞ。
	ワセダ三畳青春記	高野秀行著 集英社 2003.10	913.6//Ta47	4202108385	今、ノンフィクション作家で一番面白いのは高野秀行であると言っても過言ではありません。世界の変なところの奥深くまで取材して面白くルポを書く達人で、『謎の独立国家ソマリランド』が一番面白いと思います。そんな彼がどんな大学生であったのかを描いたこの本。教員としてはあまり参考にして欲しくない学生だったようですが、自分が何者なのかを知り、面白いと思えるものを探すためには必要な時間だったのかもしれない。面白いと思ったら、是非この著者の国際感覚の養われる本も読んでみてください。

推薦者	推薦図書				推薦文
教員名	タイトル	著者 出版者 出版年	請求記号	資料番号	
宇和田貴之	世界史は化学でできている : 絶対に面白い化学入門	左巻健男著 ダイヤモンド社 2021.2	430.2//Sa57	5202109398	以前紹介した『スパイス、爆薬、医薬品』(J. バーレサン、P. ルクーターは世界史の節目で化学物質が果たした役割を描いた本でしたが、こちらの本は科学史(化学史)を世界史とリンクさせながら語る本で、似ているようで目的は異なります。化学を学び始めの皆さんが科学史の入門として読むのが最も良いでしょう。世界史の部分が正直ちょっと弱いのが難点ですが。
	世界のすごい巨像(地球の 歩き方Books ; W08 . 旅の 図鑑シリーズ).	地球の歩き方編集室編集 学研プラス 2021.8.	290.93//C44//W08	4202207557	みんなが見たことのある巨像といえば牛久の大仏になるんですが、特に信仰心のない私でもあれを見ると息を呑みません。大きさゆえの圧倒的な存在感だけでなく像にこめられた多くの人の思いとがそうさせるのでしょう。この本で紹介されているのは世界各地にある古今の巨像です。これらの像がいったいどのような経緯で、誰の思いにより作られたのかを想像すると、世界に対する興味と関心が高まるのではないのでしょうか。なお、私は中国の樂山大仏を一度見てみたいと思つてます。
	日本語の作文技術 新版 (朝日文庫 ; [ほ1-41]).	本多勝一著 朝日新聞出版 2015.12.	816//H84	4202308515	大学生とは文章を書く訓練をする期間でもあります。レポート、卒論、就職活動その他、ありとあらゆるところで文章を書くよう求められます。文章を書くためになにより重要なのは「伝えたい」という気持ちですが、同じくらい重要なのがその「伝えたい」ことを誤解なく伝える能力、つまり作文技術です。この新聞記者による『日本語の作文技術』は“わかりやすい”文章の技術的な解説本としては古典中の古典、名著中の名著で、一度読めば文章を書く際の心構えがまるで変わってきます。その心構えは一生の財産に、きつとなることでしょう。

〈薬学部薬学科〉教員おすすめ図書 一覧

推薦者	推薦図書				推薦文
教員名	タイトル	著者 出版者 出版年	請求記号	資料番号	
大嶋繁	好きになる薬理学・薬物治療学：薬のしくみと患者に応じた治療薬の選定	大井一弥著 講談社 2022.3	491.5//O31	5202231592	薬物治療に必要な薬理学を大切なことを臨床とのつながりを意識して書かれた入門書です。ポイントをしばって、重要事項がまとめられています。薬学部の学生のほか、薬の知識が必要な管理栄養士などにもおすすめです。
畑中朋美	「死」とは何か：イエール大学で23年連続の人気講義	シェリー・ケーガン著；柴田裕之訳 文響社 2019	114.2//Ka16	5201942874	原題は『DEATH』、正に「死」に関する本である。宗教本でも啓発本でもなく、「死」という現象を、論理的に考察した哲学の本である。感情を排して客観的に「死」を見つめることにより、「人生」に新たな意義を見出せるかもしれない一冊である。
	サピエンス全史：文明の構造と人類の幸福 上・下	ユヴァル・ノア・ハラリ著 河出書房新社 2016.9	209//H32//1 209//H32//2	5201717951 5201717962	「人間はなぜ生まれて、どこへ向かって行くのか？」誰もが多少なりとも一度は抱く疑問ではないでしょうか？この本にはその答えのヒントが隠されています。ビル・ゲイツ、ザッカーバーグ、そして畑中が絶賛する世界的ベストセラーです。一読をお勧めします。
渡辺知恵	バッタを倒しにアフリカへ	前野ウルド浩太郎著 光文社 2017.5	486.45//Ma27	4201807458	人類史がはじまって以来、何人たりとも解決することができなかったアフリカの食糧問題に直結するバッタ問題「神の罰」に立ち向かい、一攫千金ならぬ己の人生をかけてサハラ砂漠のあるアフリカ・モーリタニアへ渡った若き日本人研究者バッタ博士の奮闘記。非常に軽快な文章で読みやすく、苦難に遭っても、ユニークな方法で解決していき、適応していく姿は、非常にユーモラスで、共感を覚えるとともに、未知のものへの興味と、夢と希望を与えてくれる一冊である。
	若き薬剤師への道標：薬学・薬剤師の歴史を辿り、現在を照らす	佐谷圭一著 薬事日報社 2009.10	499.04//Sa99	5201832358	薬学・薬剤師における歴史や今日行われている業務になった経緯、著者の薬剤師としての経験談、人生考などが、コラムの形で興味深い写真とともに紹介されている。著者の若き薬剤師への熱いメッセージや人生考に、今一度自分自身を内省させられる一冊である。
	薬局新時代：薬樹の決断：「まちの皆さま」の健康を支えるために	鶴崎靖夫著 IN通信社 2015.6	499.095//Ts85	5201831687	薬剤師と管理栄養士の連携、「かかりつけ薬局」としての地域の健康への貢献、在宅医療においてターミナルケアを中心とした薬剤師の訪問によるサポート。本書では、「まちの薬局」薬樹株式会社、真に患者に寄り添う新しい薬局のかたちに向かって、これらの実現に向けた挑戦が記されている。社会における薬局の新しい流れを感じ取るとともに、薬剤師や管理栄養士に対する社会の期待、責任、やりがいを感じて頂き、さらに新しい将来を創造する糧として頂きたい一冊である。

〈薬学部医療栄養学科〉教員おすすめ図書 一覧

推薦者	推薦図書				推薦文
教員名	タイトル	著者 出版者 出版年	請求記号	資料番号	
五十嵐庸	ロウソクの科学 改版	ファラデー [著]; 三石巖訳 角川書店 2012.6	430.4//F15	4201704216	偉大な科学者ファラデーが、日本の小学生ぐらいの子供たちに、授業をしつつ実験を行う様子をまとめたもの。「ロウソクに灯った火」という、誰もがみたことのあるものを題材にしながら、科学の精神が読み取れる。科学を学ぶ学生さんだけでなく、あらゆる学生さんたちに読んでもらいたい。
	プレゼンテーションZen: プレゼンのデザインと伝え方に関するシンプルなアイデア 第3版	ガー・レイノルズ著; 熊谷小百合, 白川部君江訳 丸善出版 2021.5	336.49//R29	5202127835	現代社会において、プレゼンテーションの重要性はますます高まっていると感じられる。それは、大学時代のみではなく、社会に出てからのほうが高いかもしれない。本書は、テキストだけでなく、面白く、魅力もない、いわゆる「最悪」なプレゼンを、魅力的に変えるヒントが満載されている。
	ビューティフル・マインド: 天才数学者の絶望と奇跡	シルヴィア・ナサー [著]; 塩川優訳 新潮社 2002.3	289.3//N55	5201125604	第74回アカデミー賞4部門を受賞した同名の映画の原作である。映画も素晴らしかったが、本書も素晴らしい。今いう妄想型統合失調症と診断された天才数学者、ジョン・ステイプ・ナッシュの正気と狂気、そして喜びに満ちた生涯を取り上げている。読者を飽きさせない翻訳も素晴らしい。
	πの話	野崎昭弘著 岩波書店 2011.2	414.12//N98	4202111745	「円と同じ面積をもつ正方形を作図することはできるか?」という問いは、円周率というものの不思議さを端的に表している。本書は、円周率を歴史上どうやって求めてきたのかを、優しく解説している。推薦者は、「岩波科学の本」版を小学生の時に読み、感銘を受けたのを今でも覚えている。
	2時間でおさらいできる戦国史	石黒弘親著 大和書房 2015.8	210.47//I73	4202111734	日本史の中でも、戦国時代はまさに動乱の時代である。しかし、いわゆる受験の日本史では、戦国大名の領国経営などにスポットが当てられる。本書では、受験日本史では見ることのできない細かなエピソードや農村社会の構図などを、わかりやすく描いている。歴史が苦手な学生も読みやすいと思う。
	戦国診察室	馬淵まり著 GH株式会社(SPP出版). 2015.11	281.04//Ma12	5202137644	本書は、歴史戦国ポータルサイト「武将JAPAN」に掲載されたコラムに、新たな章を加筆し、出版されたものである。医師でもある著者が、戦国時代に絞りに、医学的見地から、病気のみではなく、切腹など幅広いテーマを取り扱っている。歴史ファンのみならず、面白く読める一冊である。
	東大教授も惚れる!日本史アツパレな女たち	本郷和人監修; まんきつ画 集英社 2019.7	281//H84	5202134867	本書は、「歴史は人間が紡ぐもの。男性と女性が織りなすもの。だから、学校で教える女性なしの歴史なんてあり得ない!」というお題目で、東京大学教授である著者が、日本史に出てくる女性を、対決形式で解説している。歴史が苦手な学生も面白く読めると思う。
	昭和史の急所: 戦争・天皇・日本人	俣正康著 朝日新聞出版 2019.5	210.7//H91	4202111701	「当時の日本人が、なぜ戦争へ邁進して行ったのか。なぜ引き返すことができなかったのか。」本書は、著者が以前発表してきた著作から、本テーマに関する重要部分を抜き出し、再編集したものである。戦争から得た教訓を平和に生かすために、7章に分けて記している。

推薦者	推薦図書				推薦文
教員名	タイトル	著者 出版者 出版年	請求記号	資料番号	
五十嵐庸	東大全共闘1968-1969 : フォトドキュメント	渡辺眸 [著] KADOKAWA 2018.4	377.96//W46	4202111723	学生運動真っ只中のバリケードの中で何が起きていたのか。当時、撮影が許された女性写真家が写した闘いから、「1968-1969」を鋭く切り取る。 元・東大全共闘代表の山本義隆氏に浪人時代に予備校で講義を受けた推薦者からすると、とても感慨深い一冊である。今の学生さんたちも、当時日本で何が起きていたのかを知っていただきたい。
	総括せよ!さらば革命的世 代	産経新聞取材班著 潮書房光人新社 2018.11	377.96//Sa63	4202111712	本書は、全共闘運動を知らない産経新聞記者による、時代の証言者のインタビューを集めた一冊である。 取材対象者に対し、それぞれの人のそれぞれの総括に考えさせられるものがあり、予想外に楽しめた一冊である。一点残念だったのは、文庫化にあたり趣のあった表紙が変更された事ぐらいだろうか。
	昭和の怪物七つの謎 [正]	保阪正康著 講談社 2018.7	281//H91//1	4202111698	近・現代史の実証的研究により、和辻哲郎賞を受賞している著者が、「戦争の目撃者」として六名を挙げて、戦後七十余年の今だからこそ見えてくる「七つの謎」について切り込んでいる。過去の歴史を現代史の視点で捉えるという著者のライフワークの一端が感じられる。
伊東順太	自炊力：料理（レシピ）以 前の食生活改善スキル	白央篤司著 光文社 2018.11	598//H19	4202103368	私が料理が苦手な方への栄養指導の参考になっている本です。『自炊＝食材を買って、「1」から作るもの』と思い込んで自炊に二の足を踏んでいる学生さんに読んでもらいたい！本書は、『作らずに、「買う」ことだって自炊です』と、自炊のハードルを下げてくれる本で、「コンビニで必要な買う力」と「味噌汁・スープ」の章は必読です。
	フリーランスで活躍したい 管理栄養士の本：地域に もっと可能性がある!	中田恵津子、安達美佐、岩崎 祐子著 女子栄養大学出版部 2022.12	498.14//N31	5202249683	“管理栄養士らしい仕事”とは何か。 「フリーランス管理栄養士」という働き方を通じて管理栄養士としての価値をどう生み出すか、どんなスキルが必要なのか丁寧にかかれて一冊です。この本から、管理栄養士はフリーランスに限らず、「個人の視点」を持つことで自身の価値を作り出すことがとても大切だ、というメッセージが伝わってきます。
君羅好史	なんで僕に聞くんたらう。	幡野広志著 幻冬舎 2020.2	159//H42	5201953936	多発性骨髄腫を発病し、余命宣告を受けた写真家の幡野広志さんのもとに寄せられる人生相談の一つ一つに「なんで僕に聞くんたらう」と感じながらも、相談者に向き合って答えていく幡野さんの「言葉」が詰まった1冊。辛辣だけ否定せず、包み込むようにウィットに飛んだ言葉を織り交ぜて和ませ、相手を肯定し、背中を押す。この本を読むと、「言葉で人の歩みを止めるのではなく、背中を押してあげられるようになりたい」といつも思います。
	栄養学を拓いた巨人たち： 「病原菌なき難病」征服のド ラマ	杉晴夫著 講談社 2013.4	408//B59//1811	5201330578	教科書に出てくる栄養素や体の仕組みが、いつ、どのように発見され、解明されてきたのかを知ることができる一冊です。 研究者たちの命をかけた研究によって確立されてきた栄養学の歴史に目を向けることで、勉強がより一層面白くなると思います。
	命の格差は止められるか： ハーバード日本人教授の、 世界が注目する授業	イチロー・カワチ著 小学館 2013.8	498//Ka91	4201311530	日本人が持つ「お互いさま」「持ちつ持たれつ」といった連帯意識が日本人の健康を支えてきたとして、健康のためには病院や薬より大切なものがあると書かれています。「みんなが健康でいられる社会をつくる」ことが目的である「パブリックヘルス」や、一人一人の命をどう救うかではなく、社会全体の健康をいかにして守っていくのかという「社会疫学」という考え方にも触れられる名著です。

推薦者	推薦図書				推薦文
教員名	タイトル	著者 出版者 出版年	請求記号	資料番号	
君羅好史	宇宙に命はあるのか：人類が旅した一千億分の八	小野雅裕著 SBクリエイティブ 2018.2	538.9//O67	4201813593	なぜ人々は宇宙に惹かれるのか？それはイメージーションの力が人々を突き動かすから。「SFの父」ジュール・ベルヌの言葉「人が想像できることは、すべて実現できる」とおり今もイメージーションを自由に働かせ、新たな世界を切り開こうとワクワクしている人がたくさんいるはず！この本を読み終わった僕のように！
	Graphic recorder：議論を可視化するグラフィックレコーディングの教科書	清水淳子著 ビー・エヌ・エヌ新社 2017	809.6//Sh49	5201927158	暗記が苦手、ノートテイクがうまくいかないなどの悩みを抱える学生さんにオススメなのが「グラフィックレコーディング」です。漫画だと世界史が覚えられるように、人はイラストによって瞬間的に理解できます。情報をグラフィカルに表現できるようになると、授業の内容などが頭に入りやすくなりますよ。
	美味礼讃	海老沢泰久著 文芸春秋 1994.5	913.6//E15	4201619438	日本に初めてフランス料理をもたらしたといわれる、辻調理師学校の創設者・辻静雄氏をモデルにした小説です。料理の素人が本物を極めるためにフランス全土のレストランを食べ歩き、名だたる料理人たちとの交流を経て本物のフランス料理を日本に伝えようと奮闘した人生がみつづられた一冊です。人生において、本物を知ることの大変さと大事さがわかる本です。
	他者と働く：「わかりあえなさ」から始める組織論	宇田川元一著 ニューズピックス 2019.10	336.3//U26	5202137928	「なんであの人はこんなことも出来ないんだ？」と思った時に立ち止まり考える。そこには自分からは見えていなかった相手のナラティブ(その語りを生み出す解釈の枠組み)があり、それを否定するのではなく、よく観察する。その上で相手の実践を支援することを心掛ける。「わかりあえなさ」をのりこえるためのアプローチについて知ることができます。
	目の見えない白鳥さんとアートを見にいこう	川内有緒著 集英社インターナショナル 2021.9	707.9//Ka98	5202136459	目の見えないひとと一緒にアートを見るとしたらあなたはどうしますか？誰かとともにアートを見るという美術館に導かれる“旅”のなかで、分かり合えなさを抱えながら、ただ歩き、一緒に笑うことの素晴らしさについて気づかせてくれます。
	視覚化する味覚：食を彩る資本主義	久野愛著 岩波書店 2021.11	362.06//H76	4202110573	私たちが「自然」だと感じている食品の色はどうやって決められたのか？マーガリンは着色したり、漂白したり、赤いエムアンドエムズが一時姿を消していたり、オレンジもオレンジ色をつけていたり、食品の「色」の歴史的側面を見ることができるおもしろい本です！
	学びとは何か：「探究人」になるために	今井むつみ著 岩波書店 2016.3	141.33//I43	4202112063	学んでどうということだろう？と考えるきっかけとなる一冊だと思います。知識の断片を覚えるのではなく、「問い」に対する答えを求めて、知識を自分で発見し、使うことで身体の一部にしていく。自分にとっての「学び」とは何かを考えながら、大学生生活を充実させてほしいと思います。
	マイノリティデザイン	澤田智洋著 ライツ社 2021.1	369.04//Sa93	5202113247	著者の澤田さんは本書の中で、「弱さ」は克服するものではなく「生かす」ものであり、「伸びしろ」だと書いています。この考え方を知れば、自分や誰かの中にある「マイノリティ」がキラキラして見えてくる。「弱さ」や「ピンチ」を見つけるのが楽しみになれます。
	縁食論：孤食と共食のあいだ	藤原辰史著 ミシマ社 2020.11	383.8//F56	5202043618	『食べることと出すこと』から「共食圧力」について考えていて辿り着いた『縁食論 孤食と共食のあいだ』。ちょっと立ち寄れて、でも話さなくてもいいような、人の「ヘリ」がある場所の同じ時間に停泊しているような食・場のあり方「縁食」について考えている一冊。おもしろいですよ。

推薦者	推薦図書				推薦文
教員名	タイトル	著者 出版者 出版年	請求記号	資料番号	
君羅好史	「利他」とは何か	伊藤亜紗編；中島岳志 [ほか著] 集英社 2021.3	151.5//189	4202111869	相手を助けてあげようと考えて行「利他」は相手を支配することにつながってしまう。自分の行為の結果はコントロールできないと考え、その不確実性を認識しながら、相手が「いる」ことを肯定し、聞くことで他者を発見し、その行為から自分にも変化が起こる。「うつわ」として生きることで、そこに利他が生まれる。「利他」についてたくさん考えることできる本です。
	LISTEN：知性豊かで創造力がある人になれる	ケイト・マーフィ著；松丸さとみ訳 日経BP 2021.8	361.454//Mu78	5202136518	そもそも「聞く」って意識したことがない、どうやって「聞く」かわからないと感じていた時に会った本です。寄り道状態の頭で相手の話を聞かない僕のような人間が会話の中で相手の話に集中し、「聴く」ことができるようになるヒントが本書には散りばめられています。「聴く」を努力して実践していきたいなと思うようになりました。
	アダム・スミスの夕食を作ったのは誰か？：これからの経済と女性の話	カトリーン・マルサル著；高橋璃子訳 河出書房新社 2021.11	331//Ma51	5202132536	利益の追求により夕食が手に入ると言っていたアダムスミスが夕食にありつけたのは、ステーキを焼いてくれる母親のケアがあったから。家事労働やケア、そこに居場所を求めざるを得ない女性たち、それらを排除した「経済人」という誤った前提を捨て去って、「女性」「経済」について考えることが必要と教えてくれる本です。
	サステナブル・フード革命：食の未来を変えるイノベーション	アマンダ・リトル著；加藤万里子訳 インターシフト 2021.12	610.1//L71	5202138941	古代農業への回帰かテクノロジーによる改革かの二者択一ではない、革新的で伝統的な「第3の方法」が提示されています。気候変動と人口増加に適応した食料供給について、地球の住人である我々が考え関わる必要があると気づかせてくれる本です。
	目の見えない人は世界をどう見ているのか	伊藤亜紗著 光文社 2015.4	369.275//189	4201619143	見えないという障害が、その場のコミュニケーションを変えたり、人と人の関係を深めたりする「触媒」として人間関係の「壁」を低くし、互いが影響し合う「揺れ動く関係」に変えてゆくことに貢献していると書かれています。「障害」について考えるきっかけになる本。読んでみてください。
	What (ホワット) is (イズ) life (ライフ)？：生命とは何か	ポール・ナース著；竹内薫訳 ダイヤモンド社 2021.3	461//N99	5202108422	ノーベル賞受賞の細胞生物学者ポール・ナースのエッセイは、読み進めるだけで現代生物学の重大な知見が脳内にすると入ってきちゃいます。「生命とは何か？」を深く考えることの大切さと面白さを存分に教えてくれるとってもワクワクさせてくれる本です。
	食卓のつづやき	池波正太郎著 中央公論新社 2021.11	914.6//134	4202112370	「鬼平犯科帳」「剣客商売」で有名な時代小説作家の食べものの思い出がいくつも登場します。いろんな料理が出てくるのですが、高級なものや豪華なものよりも、タマネギ味噌や鰹の骨湯、埋豆腐などシンプルな即席飯がなんともうまそうでお腹が空いちやうエッセイ集です。
	食べることと出すこと	頭木弘樹著 医学書院 2020.8	916//Ka76	5202040568	食べることは人をつなぐことも断つこともできる。この本を読むことで、相手が食べない理由を想像し、食べることに困難のある人、食によるコミュニケーションに参加したくない人がいることを想像できるようになったと思う。この本に通じかかった人が様々な解釈をすることができる「弱い本」ぜひ読んでみてください。
	探究する精神：職業としての基礎科学	大栗博司著 幻冬舎 2021.3	404//O26	4202114986	大学生・大学院生の学び、研究者としての考え方と行動について書かれていて、大学1年生や大学院1年生が読むと良いんじゃないかと思います！著者の大栗さんの「知」の原点としての大型書店での体験と影響を受けた沢山の「本」が紹介されているのもとても良いんです。

推薦者	推薦図書				推薦文
教員名	タイトル	著者 出版者 出版年	請求記号	資料番号	
山王丸靖子	口語養生訓	貝原益軒原著 松宮光伸訳註 日本評論社 2000.8	498.3//Ka21	6200046402	日本が誇る儒学者であり本草学者(薬学)である貝原益軒(1630年—1714年)が亡くなる晩年に記した健康に関する教育書である。この「口語 養生訓」は現代文に読みやすく訳されているとともに、翻訳者が薬学の知識をもとに解説をつけている。薬学の知識がなくても読める「健康の書」である。「腹八分にバランスの良い食事をする。薬に頼りすぎず、食事が大切である。」と説き、睡眠、運動(労働)についても言及している。現在のがん予防12か条にも通じる「健康のバイブル」である。この本を読めば、昔から言われてきた日本人の健康法が腑に落ちる。
	これで安全食べ方上手：食品添加物・農薬に負けない	増尾清著 晶文社 2006	498.54//Ma68	5201920220	偽造食品、表示違反、食品添加物、農薬、放射能、禁止輸入食品など食品の危険は絶えることはありません。しかし、現代のような便利な社会において農薬や添加物をなくすることはできません。それならば、消費者自身が食の安全を考え、自分の健康を自己防衛するしかありません。下ごしらえ、調理の工夫による「除毒」が科学的見地から、一般の人にもわかるように楽しく解説されています。元東京都消費者センター試験研究室長だった著者が、自らの経験をもとに、食品の安全について語ります。
	時間栄養学が明らかにした「食べ方」の法則	古谷彰子著 ティスカヴァー・トゥエンティワン 2014.8.	498.583//F94	5201917953	「いつ、何を、どれだけ」食べるか?これは管理栄養士でなくても、すべての人が知りたい質問です。自分の好きなものを食べたいだけいつでも食べたいというのは、人類共通の飽くなき欲求です。でも、いつまでも健康に元気に暮らしたい。。。というのも私たちの大きな願いです。この「時間栄養学が明らかにした食べ方の法則」を読めば、自分の食生活やライフスタイル“特に食事時間”を少し変えるだけで、健康な生活が手に入り、美味しく食事ができるようになるかもしれません。そんなヒントが科学的に解説されています。
	知覧からの手紙	水口文乃著 新潮社 2007	916//Mi94	5200932277	「あなたたちは、命は尊いものだと言われていてしょうけれど、あの時代は、命は国のために捨てるべきもだったの。」そう語る智恵子さんの婚約者・穴沢利夫大尉は、終戦間際の昭和20年4月12日に東シナ海で、特別攻撃隊の隊長として命を散らしました。智恵子さんの口を通して、太平洋戦争に否応なしに巻き込まれた若者の悲劇が語られます。終戦後60年の年月を経ても色あせない、穴沢大尉への想いに胸を打たれます。涙なしには読めないノンフィクションです。若い人にこそ読んでもらいたい1冊です。
	嵐が丘 上、下.	エミリー・ブロンテ作 河島弘美訳 岩波書店 2004	933//B75//1 933//B75//2	5200433503 5200434354	「私よ、開けて」と亡霊キャサリンが窓を叩く衝撃的なシーンから始まる2家族の愛憎の物語である。物語は女中の口を通して、無関係な旅行者へ淡々と語られる。これでもかこれでもかと、悲惨な展開が進む。しかし、それでも人間は希望を捨ててはならないのだ。「嵐が丘」は人間の考える得る最高の奇体な物語である。
	外国語学習の科学：第二言語習得論とは何か	白井恭弘著 岩波書店 2008.9.	807//Sh81	4200809777	日本に住んでいて日本語ができれば生活に不自由しない日本人がどのように学習すれば良いのか。長い間、なぜこんなに英語ができないのかと悩んできました。そして、たくさんの英語学習法に関する本を読み漁ってきました。そして、とうとうこの本に出会いました。なぜこれまで悩んできたのか、その理由が本書を読んで腑に落ちました。著者は、日本生まれの日本人で、現在アメリカで教鞭をとっています。英語学習について科学的な研究(言語学、心理学、認知科学)をもとに著者が知見を加えて分かりやすく解説しています。最後の章にまとめられている効果的な学習方法は、英語を学ぶ人には誰にとっても必読です。
	歴史を変えた6つの飲物：ビール、ワイン、蒸留酒、コーヒー、茶、コーラが語るもうひとつの世界史	トム・スタンデー著；新井素嗣訳 楽工社 2017.6	383.8//St2	5202035572	様々な歴史の歩みの中で、実は飲み物が重要な役割を果たしていた！？私たちが日ごろ何気なく口にしているお茶、コーヒー、ビール、コーラ、ワイン、蒸留酒が、歴史の変化に影響を与えていました。歴史の教科書には載らない「飲み物」の影響を描いた世界的ベストセラーであり、一読の書です。

推薦者	推薦図書				推薦文
教員名	タイトル	著者 出版者 出版年	請求記号	資料番号	
山王丸靖子	スマホ脳	アンデシュ・ハンセン著；久山葉子訳 新潮社 2020.11	491.371//H29	4202007555	あなたは一日にどれくらいの時間をスマホに費やしていますか？なんと大人なら平均4時間！！信じられない人は自分のスマホで使用時間とロック解除の回数をチェックしてみましょう。スマホを使用している時間の長さに驚愕するはずですが、なぜ私たちはスマホが大好きなのでしょう？それは新しい情報を提供してくれるスマホが、私たちの脳内の報酬システムを刺激するからです。そして、いつしか報酬を我慢できなくなり、記憶力や集中力まで低下してしまうのです。そんなスマホの誘惑への対抗策が知りたい方は、スマホではなく本書を是非手にとって読んでください。
	息子が殺人犯になった：コロンバイン高校銃乱射事件・加害生徒の母の告白	スー・クレボルド著；仁木めぐみ訳 垂紀書房 2017.7	936//K13	5201739753	1999年に世界を震撼させたアメリカのコロンバイン銃乱射事件。37名が死傷した大規模な無差別殺人事件の犯人はわずかに18歳と19歳だった。本書は、我が子の誕生を祝ってから、恐ろしい事件を起こすまで息子の軌跡を、犯人の母親が万感の想いを込めてつづった1冊である。「なぜ気づかなかったのか」「人生のターニングポイントはどこにあるのか。」事件から16年が経過した2015年に出版された本書は、ノンフィクションであり精神衛生の分野に深く切り込んだ専門書でもある。加害者の母ではあるものの、最愛の息子を失った母親としての慟哭には心を動かされずにいられない。
	チップス先生、さようなら：新訳	ジェイムズ・ヒルトン著；大島一彦訳 慧文社 2016.5	933.7//H58	5201839505	図書館の新刊コーナーで見つけ、懐かしくなり30年ぶりに再読しました。そして、若い時にはわからなかった静かな感動を覚え自然と涙が出ました。訳者は「あとがき」で次のように述べています。「この作品は、読者の側が想像力を十分に発揮しながら一行一行心を込めて読んでいくなら、一人の忘れがたい人物と一つの貴重な人生体験を深い感動とともに読者の心に残してくれるはずである。」一人の教師が全うした人生の話です。学生の皆さんも是非読んでみてください。そして年齢を刻んだ何十年後に再び手に取り、味わう価値のある作品です。
	銃・病原菌・鉄：一万三〇〇〇年にわたる人類史の謎 上・下	ジャレド・ダイヤモンド著；倉骨彰訳 草思社 2000.10	204//D71//1 204//D71//2	6000002436	2000年に発行された本作は、ピューリッツァ賞、コスモス国際賞を受賞し世界的ベストセラーとなった。地球上に分布している異なった種族の人間たちはなぜ異なった発展を遂げたのか？著者は36年に渡る調査研究から驚くべき仮説にたどり着く。それは「環境の違い」によるというのである。この見解がどこから、どのように導き出されたのか知りたい方は是非とも、本書を読んでいただきたい。中盤には日本で「刀」が発達した理由についても解き明かされている。知的好奇心を満たすこと、間違いのない稀代の傑作である。
	家族八景	筒井康隆著 新潮社 2002	913.6//Ts93	4201902114	
	七瀬ふたたび	筒井康隆著 新潮社 2002.10	913.6//Ts93	4201902125	主人公の七瀬(18歳、女性)は、住み込みのお手伝いとして働いている。七瀬には人の心を読む超能力があり、そのことから生じるトラブルや自分自身との葛藤が中心のフィクション小説である。人間の深層心理を鋭く描いた描写からは目を離すことができない。人間が心の底では何を考えているのか再考する良い機会となるだろう。興味を持った人には続編の「七瀬ふたたび」「エディプスの恋人」もおすすめです。
	エディプスの恋人	筒井康隆著 新潮社 2002.11	913.6//Ts93	4201901976	
	猫の事務所 復刻版	宮澤賢治著；市村宏編 たてしな書房 1999.6	913.8//Mi89	5200150886	日本人なら誰でも知っている宮澤賢治氏による童話集です。太平洋戦争後、間もない昭和24年に世界平和と幸福を願い、学校で学ぶ生徒さんのために選者らが心を込めて選んだ童話集です。表題「猫の事務所」以下9編の童話がおさめられ、「良い人間を作りたい」という宮澤賢治氏の願いが込められた作品に心を打たれます。復刻版のため旧かなづかいなので、古き良き日本の風情が感じられます。佐伯義郎画伯による挿絵の素朴な美しさにも心を惹かれます

推薦者	推薦図書				推薦文
教員名	タイトル	著者 出版者 出版年	請求記号	資料番号	
山王丸靖子	英語で読む武士道	新渡戸稲造著；増沢史子英語解説 IBC/パブリッシング 2012.8	837.7//111//2	5201253405	日本銀行の5千円券の肖像画として知られる新渡戸稲造が、38歳の時に英語で執筆したのがこの「武士道」です。新渡戸は、序文に「日本に存在する価値観や道徳教育を説明するためには、封建制と武士道を理解してもらわなければ、説明できない」と記しています。国際化が進む現在、世界の人々により良く日本を知ってもらうためにも、この武士道を読むことを推奨します。この「武士道」には日本人の宗教観、倫理観、価値観が明解に説明されています。日本人である新渡戸の読み易く、かつ格調高い英語が、平易な現代日本語に翻訳されています。英語の勉強にも一役買うことは間違いありません
	小僧の神様：他十篇 改版	志賀直哉作 岩波書店 2002.10	913.6//Sh27	5201937548	日本を代表する小説家の一人である志賀直哉の作品です。この「小僧の神様」は、貴族院議員Aがお金のない丁稚小僧に高級寿司をご馳走する。というただそれだけのお話です。しかし、議員Aは自分のした行為は欺瞞ではないかと自身を顧みるのです。一方の小僧は、寿司を奢ってくれた名も知らぬAを「神様」だと思のです。この小説を読むと、誰にでも「神様」はいるのではないかと、心の慰めをもらう事ができます。表題の他には「清兵衛と瓢箪」「赤西蠣太」など、人間の持つユーモアと哀しみを著した十つの短編が収められています。
	ガラスの地球を救え：二十一世紀の君たちへ	手塚治虫著 光文社 1996.9	914.6//Te95	5200555179	1989年に亡くなった、天才漫画家・手塚治虫の最後のメッセージです。代表作火の鳥、ブラックジャックなど、すべての作品を通じ、惜しみなく命への賛辞を発信した理由が明かされています。手塚は「なんとしてでも、この世界を、この地球を、未来へとつなげていかねばならない・・・後略」と述べています。暗い話題が多い最近ですが、この本を読めば、明るい未来を信じてことができます。そして、自分の持てるエネルギーを再考するに違いありません。
	赤い蠟燭と人魚 複製	小川未明著 日本近代文学館 1980.10	913.8//O24	1006035481	「日本童話界の父」とも称される偉大な作家、小川未明の童話が18編収められています。表題「赤い蠟燭と人魚」は、子供の幸せを願い人間に預けられた人魚の話です。蠟燭屋を営んでいた老夫婦は、最初は人魚の娘をかわいがっていましたが、しかし、香具師(見世物屋)が大金を提示すると売ってしまい、その結果夫婦と村は災難に見舞われます。人間のきれいな心や、醜い心を扱いつつ教訓が分かりやすく、素朴な文体で綴られています。柔らかい旧仮名遣いに触れてみることをお勧めします。
	後世への最大遺物：デンマーク国の話	内村鑑三著 岩波書店 2008.4	198.9//U19	4201008133	『後世への最大遺物』内村鑑三は明治・大正の無教会主義を唱えたキリスト教思想学者です。その著者が「あなたの人生にはどのような意味があるのか。あなたは後世に何を遺すのか？」と問いかけ、そして自らが答えていく講話をまとめた本です。内村は講話の中で、「残すのはお金か？事業か？文学(思想)か？」と問いかけ、そのどれでもないと話します。そして「後世に残すのは〇〇である」と話して、講話を閉じるのです。皆さん、この本を手に取り、是非「〇〇」を探してみませんか。人生をどのように生きるか、ヒントが得られる本です。
	戦国自衛隊 新装版	半村良〔著〕 角川書店 2005.1	913.6//H29	4202212623	21名の陸上自衛隊員が、演習中に時空の歪みに巻き込まれ、戦国時代にタイムスリップしてしまいます。生き延びるために近代兵器を駆使し、友情を交わした戦国武将とともに天下取りを目指します。しかし、戦国時代の荒ぶる波は、次第に自衛隊員たちの精神を蝕み、やがて。。。荒唐無稽なSF物語ですが、それぞれの場面では思わず手に汗を握ること間違いなしです。1979年に公開された映画(千葉真一主演)もおススメです。

推薦者	推薦図書				推薦文
教員名	タイトル	著者 出版者 出版年	請求記号	資料番号	
山王丸靖子	君たちはどう生きるか	吉野源三郎著 マガジンハウス 2017.8	159.5//Y92	5201848152	著者の吉野源三郎は明治から昭和に掛けて生き抜いた児童文学者です。主人公コベル君が、学校生活を送る中で「いじめ」「貧乏」「裏切り」など様々な体験をします。その時々感じたことを交換ノート形式で、叔父さんと共有し、考え方や見方を示唆されて心身ともに成長していく過程が描かれています。「僕たちは、自分で自分を決定する力をもっている」私はこの言葉が好きです。皆さんもこの本の中から、自分をencourageしてくれる言葉を見つけてみませんか？小説はちょっと。。という方には漫画がおすすめです。
	黒い家	貴志祐介 [著] 角川書店 1998.12.	913.6//Ki56	4202300049	保険金殺人のホラーミステリー小説である。保険会社に勤務する若槻は、ある中年女性が住む「黒い家」に保険の契約に訪れる。そこで、その家の息子の自死現場に遭遇し、歯車に巻かれるようにして犯罪に絡めとられて行く。「彼ら(サイコパス)は、自分の子供にすら愛情を抱かない！」と若槻は叫ぶ。心理学・生物学的視点に基づき犯罪心理を掘り下げた解説は十分な読み応えがある。最後に若槻の恋人が「わたしは、生まれつき邪悪な人間なんていないと信じているわ」と語るのだが。。その言葉を信じるか信じないかは、本書を手取るあなた次第！！心の底から震え上がる恐怖を感じたい方は、夜中に一人で読むことをおすすめします。
	モンスター	百田尚樹 [著] 幻冬舎 2012.4.	913.6//H99	4202300038	生まれつき顔が醜い女性の恋物語である。主人公の未帆は、「バケモン」と呼ばれるほど醜く蔑まれて成長した。そしてある時から、整形を繰り返し完璧な美女に生まれ変わる。美女となった未帆は、醜かった自分をあざ笑い蔑んできた周囲の人間に復讐しつつ、諦めきれない初恋の男性の心を手に入れようともがき苦しむ。。。さあ、このストーリーを一人の女性の単なるストーリーの話ととらえるのか、純愛物語ととらえるのか、それはあなたの心次第です。整形手術の現状を丹念に取材して書き上げられた本書は、小説の域を超えて読者の胸に迫ってくる。
中里見真紀	アリス・ウォーターズの世界 :「オーガニック料理の母」 のすべてがわかる	小学館 2013.12	596.23//A41	5201826931	1971年にアメリカ合衆国サンフランシスコ郊外のパークレーに世界初のオーガニックレストラン「シェ・パニース」がオープンしました。このレストランでは地元オーガニック食材だけを使った日替わりコースメニューが1種類だけ提供されています。これはこのレストランを作った女性、アリス・ウォーターズの信念です。『アリス・ウォーターズの世界』では、自然と共に生きるアリスの日常とシンプルで素材を生かしたレシピなどが、インパクトのある綺麗な写真と共に紹介されています。『アリスのオーガニックレシピ』では、シェ・パニースの人気メニューを中心に20種類のレシピが紹介されています。調理方法やポイントなどが丁寧に記され、すぐにでも作りたくなるレシピばかりです。『アリスのオーガニックレシピ』は、アリス・ウォーターズが提唱する有機栽培、地産地消、スローフードがキーワードとなる9つの料理の原則をレシピと写真と共に紹介した1冊です。アリスのオーガニック革命やレシピには、人生を豊かにする知恵が詰まっています。『アリスのオーガニックレシピ』は、アリス・ウォーターズが提唱する有機栽培、地産地消、スローフードがキーワードとなる9つの料理の原則をレシピと写真と共に紹介した1冊です。アリスのオーガニック革命やレシピには、人生を豊かにする知恵が詰まっています。『アリスのオーガニックレシピ』は、アリス・ウォーターズが提唱する有機栽培、地産地消、スローフードがキーワードとなる9つの料理の原則をレシピと写真と共に紹介した1冊です。アリスのオーガニック革命やレシピには、人生を豊かにする知恵が詰まっています。
	アリスの美味しい革命	アリス・ウォーターズ、NHKエ ンタープライズ取材班著 文藝春秋 2013.9	596.23//W47	5201826964	『アリスのオーガニックレシピ』では、シェ・パニースの人気メニューを中心に20種類のレシピが紹介されています。調理方法やポイントなどが丁寧に記され、すぐにでも作りたくなるレシピばかりです。『アリスのオーガニックレシピ』は、アリス・ウォーターズが提唱する有機栽培、地産地消、スローフードがキーワードとなる9つの料理の原則をレシピと写真と共に紹介した1冊です。アリスのオーガニック革命やレシピには、人生を豊かにする知恵が詰まっています。『アリスのオーガニックレシピ』は、アリス・ウォーターズが提唱する有機栽培、地産地消、スローフードがキーワードとなる9つの料理の原則をレシピと写真と共に紹介した1冊です。アリスのオーガニック革命やレシピには、人生を豊かにする知恵が詰まっています。
	アリスのオーガニックレシピ	アリス・ウォーターズ、NHKエ ンタープライズ取材班著 文藝春秋 2014.3	596.23//W47	5201826975	『アリスのオーガニックレシピ』では、シェ・パニースの人気メニューを中心に20種類のレシピが紹介されています。調理方法やポイントなどが丁寧に記され、すぐにでも作りたくなるレシピばかりです。『アリスのオーガニックレシピ』は、アリス・ウォーターズが提唱する有機栽培、地産地消、スローフードがキーワードとなる9つの料理の原則をレシピと写真と共に紹介した1冊です。アリスのオーガニック革命やレシピには、人生を豊かにする知恵が詰まっています。『アリスのオーガニックレシピ』は、アリス・ウォーターズが提唱する有機栽培、地産地消、スローフードがキーワードとなる9つの料理の原則をレシピと写真と共に紹介した1冊です。アリスのオーガニック革命やレシピには、人生を豊かにする知恵が詰まっています。
	シェ・パニースへようこそ： レストランの物語と46レシピ	アリス・ウォーターズ著 アン・アーノルド絵 坂原幹子訳 京阪神エルマガジン社 2013.11	596.23//W47	5201826942	『アリスのオーガニックレシピ』では、シェ・パニースの人気メニューを中心に20種類のレシピが紹介されています。調理方法やポイントなどが丁寧に記され、すぐにでも作りたくなるレシピばかりです。『アリスのオーガニックレシピ』は、アリス・ウォーターズが提唱する有機栽培、地産地消、スローフードがキーワードとなる9つの料理の原則をレシピと写真と共に紹介した1冊です。アリスのオーガニック革命やレシピには、人生を豊かにする知恵が詰まっています。『アリスのオーガニックレシピ』は、アリス・ウォーターズが提唱する有機栽培、地産地消、スローフードがキーワードとなる9つの料理の原則をレシピと写真と共に紹介した1冊です。アリスのオーガニック革命やレシピには、人生を豊かにする知恵が詰まっています。
	絵とき金子さんちの有機家 庭菜園	金子美登著 守田勝治絵 家の光協会 2012.4	626.9//Ka53	5201826997	1971年にアメリカのパークレーで世界初のオーガニックレストラン「シェ・パニース」がオープンした年に、日本の埼玉県小川町では金子美登さんが農業者大学を卒業し、有機農業を始めました。金子さんは減反政策や公害問題がある中で、「安全でおいしく、栄養価のある」ものをつくり、豊かに自給していくことこそこれからの農業に必要であると言っています。城西大学から車で30分ほどの距離にある小川町下里地区では金子さんの有機農業に対する熱意を周りの人々が受け取り、地域で有機農業に取り組んでいます。金子さんの著書である『イラストでわかる有機自給菜園』や『金子さんちの有機家庭菜園』では、イラストを交え、土作りから作付けの方法、野菜の育て方で詳しく紹介されています。完全有機栽培で世界の有機栽培の聖地となっている霜里農場のオーナーである金子さんの著書は食の専門家である管理栄養士を目指す学生の皆さんや食に興味のある方におすすめできる本です。
	イラストでわかる有機自給 菜園：無農薬栽培、堆肥づく りから自家採種、エネル ギー自給まで	金子美登著 川野郁代イラスト 家の光協会 2010.10.	626.9//Ka53	5201826986	1971年にアメリカのパークレーで世界初のオーガニックレストラン「シェ・パニース」がオープンした年に、日本の埼玉県小川町では金子美登さんが農業者大学を卒業し、有機農業を始めました。金子さんは減反政策や公害問題がある中で、「安全でおいしく、栄養価のある」ものをつくり、豊かに自給していくことこそこれからの農業に必要であると言っています。城西大学から車で30分ほどの距離にある小川町下里地区では金子さんの有機農業に対する熱意を周りの人々が受け取り、地域で有機農業に取り組んでいます。金子さんの著書である『イラストでわかる有機自給菜園』や『金子さんちの有機家庭菜園』では、イラストを交え、土作りから作付けの方法、野菜の育て方で詳しく紹介されています。完全有機栽培で世界の有機栽培の聖地となっている霜里農場のオーナーである金子さんの著書は食の専門家である管理栄養士を目指す学生の皆さんや食に興味のある方におすすめできる本です。

推薦者	推薦図書				推薦文
教員名	タイトル	著者 出版者 出版年	請求記号	資料番号	
古屋牧子	がんと共に生きていくときに、知っておいてほしいこと：人生を丸ごと抱きしめて生きるヒント	秋山正子著 山と溪谷社 2020.11	494.5//A38	5202034800	長年、訪問看護師としてがん患者の方のケアにあたってきた秋山正子さんの著書です。秋山さんは、2016年、がん患者の方が気楽に立ち寄れる相談室「マギーズ東京」を東京・豊洲に開設し、センター長をなさっています。患者さん自身が自分の中にある力を取り戻せるようサポートするという考え方にとても共感しました。
	サッコ先生と!からだこころ研究所：小学生と考える「性ってなに?」	高橋幸子著 リトルモア 2020.11	367.9//Ta33	5202034811	産婦人科医、高橋幸子(サッコ)先生の著書です。サッコ先生は、全国の小・中学校や高校での生徒や保護者を対象とした「性教育」の講演やテレビ出演を通し、性教育の普及や啓発に尽力なさっている方です。医者＝体の科学の専門家、という立ち場から、「性」について科学的にポジティブにわかりやすく書かれている本です。
松本明世	いま、なぜ専門家集団薬局なのか：薬局の新しい価値をつくるフォーラルの挑戦	鶴崎靖夫著 IN通信社 2019.2.	499.095//Ts85	5201910989	城西大学薬学部医療栄養学科は、日本で、世界で唯一の薬学部にある「管理栄養士養成課程」です。「薬」を共通言語とする「チーム医療」により、地域で暮らす人々の健康に貢献することを目指しています。フォーラルが展開する薬局では、現在、薬剤師と管理栄養士の連携によるより良い医療サービスが提供されています。さらには、「予防医療」の拠点として、人々のより健康で幸せな暮らしを支えて行こうとしています。この本には、このような取組と薬局のこれからの姿が示されています。
	イペリコ豚を買いに	野地秋嘉著 小学館 2014.4	648.2//N93	5201651054	食べるのが好きな人へお勧めです。スペイン料理で最高の生ハムの原料となっているイペリコ豚への愛情豊かな育て方を垣間見てみませんか。ほんとうに美味しい本物の生ハムが食べたくなってしまいます。
	地鳴き、小鳥みたいな	保坂和志著 講談社 2016.10	913.6//H91	5201727418	芥川賞作家 保坂和志の短編集、とにかく不思議な文章構成で、読んでいると思いが変になりそうな話の数々です。しかし、普段のとりとめのないお喋りの文脈は、「将にこれら文章のようだ。」と感心させられます。自分の無意識でおこなっている思考をみつめることができそうな1冊です。
	口福無限	草野心平[著] 講談社 2009.12	914.6//Ku84	4201705273	城西大学で学んでいる学生の皆さん、草野心平を知っていますか。そう、「城西大学学歌」を作詞した、とても自然・生き物に造詣の深い詩人です。彼は、食への想いも超一流で、このエッセイを読んでいると、自分でも試してみたくなります。バラの花びらの酢の物、とても美味しかったです。
	短いは正義：「60字1メッセージ」で結果が出る文章術	田口まこ著 ダイヤモンド社 2021.9	816//Ta19	5202137655	僕自身は、とても苦手なことである。いくつものメッセージをワンセンテンスに詰め込み、長く読みにくい、文を書いてしまう。それが、読み手に言いたいことを伝わり難くしていること。同時に、読みたくない気持ちにさせていることが理解できた。ワンセンテンス・ワンメッセージ。短い文で、伝えたいことをシンプルに伝える文章術。就活のエントリーシート作成に活用して欲しい。
松本明世、 藤縄善朗 (元鶴ヶ島市長)	ニッポンの奇祭	小林紀晴著 講談社 2017.8	386.1//Ko12	4201708608	『ニッポンの奇祭』(講談社現代新書)購入、まずは脚折雨乞の章に目を通す。面白い。偉そうに言うが(脚折雨乞とのこれまでの関わりから、言ってもいい立場だ)、よく見てよく書けている。他の章もつられて読んだ。引き込まれた。著者に共感した。「奇祭」という書名は、出版社や編集者の意向だろう。(元鶴ヶ島市長 藤縄善朗様がFacebookに紹介された書評です。藤縄様に記事の使用をご許可いただきました。)参考：『埼玉のまつり』開架3階 386.134//Ta33 『埼玉のまつり(埼玉ふるさとシリーズ 3)』開架3階 386.134//Sa24
松本明世、 真野博	地域食材大百科；第1巻 - 第15巻	農文協編 農山漁村文化協会 2010.3-2014.7	596//N97//1-15	5201022611 ほか	「川越いも」と呼ばれる「紅赤(サツマイモ)」や「下仁田ネギ」など、日本各地の伝統的な食材が紹介されています。自分が生まれ育った地域や、今生活している地域のおもしろい食材を探してみよう！

推薦者	推薦図書				推薦文
教員名	タイトル	著者 出版者 出版年	請求記号	資料番号	
真野博	忘れられた日本人	宮本常一著 岩波書店 1984.5	382.1//Mi77	5201522400	宮本先生は、私の恩師の恩師です。歴史には名前を残さない一人一人の住民が、懸命に生きた時代の記録です。一人の力は弱くとも継続し、努力すれば大きな成果がえられるということが分かります。
	ぼくの市場は『森』と『川』 奇跡の料理店“食味歳時記	戸門剛著 つり人社 2019	596.04//To28	5201917602	子供の時、野山の植物をとって食べたことはありますか？筆者の戸門 剛氏は、溪流釣り、きのこ・山菜採りの達人。この本には、高麗川周辺で採取された山、里、川の食材情報も満載。「食」に興味のある学生はもちろん、「さかな釣り」、「アウトドア」に興味がある学生に手に取ってもらいたい一冊。「身近な自然」に関心を深めるきっかけにしてほしい。
	想い込み弁当：栄養士の 卵48人が、大切なひとりの ために考えたお弁当レシピ	栄養学生団体「N」著 セブン&アイ出版 2016.2	596.4//E39	5201613411	城西大学医療栄養学科の11、13、14期生の3名が、想いを込めて作ったお弁当が掲載されたレシピ本『想い込み弁当』です。この『想い込み弁当』は管理栄養士の卵である学生たち48人が大切な一人のために考えてつくったお弁当レシピを集めた本です。医療栄養学科以外の皆さんにも参考になるレシピが必ず見つかると思います。
	職漁師伝：溪流に生きた最 後の名人たち	戸門秀雄著 農山漁村文化協会 2013.3	664.2//To28	5201440263	日本各地の職漁師に関する興味深い話を取材という形かたちでまとめてあります。食文化、民俗学、地域、河川環境、民具に興味のある皆さんには読んでほしい本です。特に、最後は、高麗川の「最後の川漁師」の話など貴重な内容が書かれていますので、高麗川プロジェクトに関わる皆さんにとっては必読書です。
	川漁：越後魚野川の伝統 漁と釣り	戸門秀雄著 農山漁村文化協会 2021.1	384.36//To28	5202038074	城西大学近隣の間門市にある郷土料理店「ともん」のご主人で、釣りやキノコ、山菜に関する書籍を多数出版している戸門秀雄氏が執筆した最新本。川で育った魚を食べる。簡単なことだが実際には難しい。川は誰でも目にでき、その川の環境を誰でも確認できるからだ。資本主義は「見えなくすること」でなりたっている。例えば、エコカーの電池製造のために途上国では悲惨な鉱山労働と公害がある。誰でも自分の家の前を流れる川の生き物をとって口にできる環境を目指したい。この本を読んでから、高麗川上流の吾野を訪問し、そのあと「ともん」で高麗川上流で育った鮎や雑魚を食べてみてほしい。
	人新世の「資本論」	斎藤幸平著 集英社 2020.9	331.6//Sa25	4202007942	現代社会の問題点を指摘し、あたらしい社会を作らなければ、社会が崩壊する前に地球が危ないと警鐘を鳴らしている。では、どうしたらいいのだろうか？この本を読んで、すべての答えがわかるわけではないが、何が問題なのかは理解できる。読みやすい本ではないがすべての城西大生に読んでほしい。
	調査されるという迷惑： フィールドに出る前に読んでおく本	宮本常一、安溪遊地著 みずのわ出版 2008.4	389//Mi77	5202137633	民俗学研究に精通した二人によるブックレット。量的には薄い本であるが、その内容は深く、簡単には読み進まなかった。宮本先生の恩師である渋沢敬三先生の言葉も重い。文系、理系を問わず、人自身や人の暮らしに関わる研究を志す全ての人に読んでいただきたい。私自身、栄養学的な「ヒト試験」と水環境に関する環境教育学のための「聞き取り調査」などを実施しており、留意しても対応できない「迷惑」があることを知り、怖くなった。
	昆虫飛形図鑑：昆虫食の 先生、飛んでる虫に魅せら れて	三橋淳著 八坂書房 2021.12	486.1//Mi63	5202140331	昆虫生理学を昆虫培養細胞を使って長年研究していた三橋先生のサイドワーク的研究は「昆虫食」に関する研究。さらに、昆虫飼育や昆虫写真撮影が趣味。卒寿を前に、約10年間こつこつと撮影した昆虫の飛形写真を揃えた本図鑑は圧巻。さらに、昆虫生化学、昆虫文化学などコラムも必読。昆虫飛形写真撮影のテクニックも紹介されている。個人的には「ハナムグリ」の飛形に驚いた。学生の皆さんには、この推薦文を読んで、「パラレルワーク」とは何か？「仕事と趣味」とは何なのか考えるきっかけにしてほしい。さらに、「継続」とはなにか考えるきっかけにもらえると思う。

〈リベラルアーツセンター〉教員おすすめ図書 一覧

推薦者	推薦図書				推薦文
教員名	タイトル	著者 出版者 出版年	請求記号	資料番号	
高嶺エヴァ	外国語上達法	千野栄一著 岩波書店 1986.1	807//C47	4201406191	千野栄一さんは東京外語大学で教授・和光大学で学長を務められた方で、語学の達人と言われた方です。30年ほど前に書かれた本ですが、語学習得のやる気にさせ、エッセイのような読み物としても面白い本です。

〈退任・退職された教員〉おすすめ図書 一覧

推薦者	推薦図書				推薦文
教員名	タイトル	著者 出版者 出版年	請求記号	資料番号	
元学長 森本雅憲	光と物質のふしぎな理論： 私の量子電磁力学	R.P.ファインマン [著]；釜江 常好、大貫昌子訳 岩波書店 2007.6	421.3//F23	4200706067	先に示した2冊は、物理学の最新の専門的な進歩を、かなり平易に述べたものですが、R.P.ファインマンが著わした『光と物質のふしぎな理論—私の量子電磁力学—』は、ノーベル賞受賞者である著者が、自分の専門分野である量子電磁力学を、かなりの努力をして、物理学が全然わからない一般知識人に、量子（粒子と波の性質を有するもの）ということを解説したものであり、優れた研究者の熱意が感じられる記録です。こちらを先に読む方がBetterでしょうか？
	宇宙は何でできているのか： 素粒子物理学で解く宇宙の謎	村山斉 幻冬舎 2010.9	429.6//Mu62	4201404689	今からもう60年以上も昔の話になりますが、夜空を見上げて、光り輝く星のその美しさと、火星などには奇妙な姿の火星人が住んでいるなどと思い描き、何時の日かロケット技術の進歩で行けるかもしれないと考えていました。真空の世界についての実感など全く無く、無というものを漠然と信じていましたが、今日の広大な宇宙の誕生、さらにはその活動をも説明する法則の詳細を研究する宇宙物理学と、微細の世界で成り立つ法則を研究する素粒子物理学が、根っここのところで結びついていることが認められてきているとは、門外漢にとっては只々驚嘆するのみであります。これらの新しい研究成果を、『宇宙は何でできているのか—素粒子物理学で解く宇宙の謎—』の中では、専門外の人に可能な限り平易に（数式等を用いていないのが素晴らしい）説明し、物理学の進歩を指し示しながらも、今なお限りなく存在する課題を指摘しつつ、これからの宇宙の運命、地球誕生の秘話を書き記しており、多少とも星空の生成に興味（「自分たちの暮らす宇宙」のことを知りたいという気持ち）を持っている人にとっては、本書は格好の入門書であり、さらなる興味の膨潤へ向けて、大いに参考になること請け合いです。
	宇宙は無数にあるのか	佐藤勝彦 集英社 2013.6	443.9//Sa85	4201404690	興味が拡大したところで、『宇宙は無数にあるのか』をお奨めします。先の本にも出てきます、「ビッグバン」に至る過程を説明する考えの一つに「インフレーション理論」があり、その提唱者の一人が日本人の著者、佐藤勝彦氏であります。宇宙に関するお話ですから、多くの専門用語が2冊の本で共通していますが、縦糸と横糸のように絡み合っており、読み合わせると定性的な理解が深まるものと思います。この本で特に興味が高まったのは、地球に生命が誕生し存在することに、地球を取り巻く宇宙環境（例えば、今の重力が僅かでも強かったとしたら人類は生まれていない？）が最適な状態にあるという指摘です。
小山修平	入社1年目の教科書	岩瀬大輔著 ダイヤモンド社 2011.5	159.4//196	5201725198	皆さんにとって就職活動は未知の領域です。就職とは何でしょう？社会人とは何でしょう？まだ社会を経験していない大学生にとってそんなの分からないのが当然です。就職活動を始める前に「少し先の未来」をのぞいてみませんか？この本ではそんな「少し先の未来」について社会の大先輩が語りかけてくれます。
	競争力	三木谷浩史、三木谷良一著 講談社 2013.9	304//Mi24	5201518778	みなさんは「経済学を学んでいったい何の役に立つのだろうか」と疑問に思ったことはありませんか？これは経済学を学ぶものならだれもが一度は考えることです。本書はこの疑問に楽天の三木谷社長がアプローチしています。対談者が彼の親で経済学者である三木谷良一氏である点も興味深いですね。

推薦者	推薦図書				推薦文
教員名	タイトル	著者 出版者 出版年	請求記号	資料番号	
小山修平	雑談力が上がる話し方：30秒でうちとける会話のルール	齋藤孝著 ダイヤモンド社 2010.4	809.2//Sa25	5201725212	皆さんはコミュニケーション能力に自信がありますか？ 皆さんが真っ先に思い浮かべるコミュニケーションは会話だと思います。就職活動ではコミュニケーション能力が大切といわれますが、実はそれほど難しいものではありません。 まずはこの本でコミュニケーションの初歩である「雑談力」を鍛えてみませんか？
江良亮	「イノベーターのジレンマ」の経済学的解明	伊神満著 日経BP社 2018.5	336.17//I23	5201825838	新世代の技術競争に関する経済学・経営学における現時点での世界最先端の知見が数学的な前提知識を一切必要せず知ることのできる名著。しかも日本語で読める。 企業競争とは何か？について理解するには2018年時点で最高の日本語文献です。
	よくわかる 経済数学入門 講義 <上> 静学分析編	門川和男著 学術研究出版/ブックウェイ 2018.3.	331.19//Ka14//1	5201828524	数学が苦手な人のための最高の経済数学入門書。この本でしっかり学べば、学部レベルの経済数学は全国有数の実力まで高めることができます。
玉城逸彦	文系でもわかるビジネス統計入門	内田学, 兼子良久, 齊藤嘉一著 東洋経済新報社 2010.3	336.1//U14	5201444063	学生の皆さんの中には、統計学と聞いただけで避けてしまう人もいます。しかし、社会人になると、マーケティングやファイナンスなど様々な仕事で統計が活用されています。分散・標準偏差、回帰分析、相関分析などを社会人になってから勉強し直す人も少なくありません。大学で統計に関する知識を深めておくことは決して無駄にはなりません。本書はアイスクリームと気温の関係、コンビニの売上げの変化、など身近で分かりやすい事例で統計の理解を深められる入門書です。
	パンダをいくらで買いますか? : ストーリーで学ぶファイナンスの基礎知識	野口真人著 日経BP社 2013.8	336.8//N93	5201418072	パンダをいくらで買うか? この問いに答えるのがファイナンス理論です。この本は、パンダの値段や会社の値段をどのように評価するかを分かりやすく解説した入門書です。証券・金融業や不動産業をめざす学生にはぜひ読んでほしいと思います。
	日本銀行	翁邦雄著 筑摩書房 2013.7	338.41//O52	4201405657	2013年4月、日本銀行は、デフレ脱却に向けて大きく舵を切り、大胆な金融政策を実施し、これが、円安・株高、金利低下に影響し、企業業績の回復や消費の拡大に寄与するようになっていきます。そもそもわが国の中央銀行である日本銀行はどのような目的で、いつ設立されたのでしょうか？ 日本銀行の実施する金融政策とはどのようなものなのでしょうか？ 今、実施されている量的緩和政策はどのような政策なのでしょうか？ 本書はこうした疑問にわかりやすく答えてくれます。
富貴島明	不可能性の時代	大澤真幸著 岩波書店 2008.4	304//O74	4200805421	社会の本質を深いところから読み解く社会学者が書いた、知的興奮を誘う本である。戦後の日本社会が、理想の時代、虚構の時代と続き、現在は不可能性の時代にあるという。原理主義と多文化主義のせめぎ合いで、自分を根拠づける拠点が喪失し、なにごとく不可能になっているという。社会が混沌とし、少年による犯罪が多発する理由も、この不可能性にあるという。おもしろいが、難解な本でもある。

推薦者	推薦図書				推薦文
教員名	タイトル	著者 出版者 出版年	請求記号	資料番号	
富貴島明	下流社会第2章：なぜ男は女に“負けた”のか	三浦展著 光文社 2007.9	361.8//Mi67//2	6200883279	学生諸君が、「下流」にならないためにも読むべき本である。下流の特徴として、不安感が強いこと、ボーとしていること、体力に自信がないこと、面接を受けることが苦手なこと、コミュニケーション能力が低いこと、ロリコン気味なこと、地元志向が強いこと、ナショナリズム的傾向が強いことなどがあげられている。下流になるほど、正社員にもなれないし、結婚もできないという。社会階層を、鋭く分析した好著である。
場勝義雄	しくみがわかる / ニュースがわかる (池上彰のやさしい経済学；1, 2)	池上彰著；テレビ東京報道局編 日本経済新聞社 2012.3-4	331//I33//1 331//I33//2	5201427665 (1) 5201427676 (2)	著者がかつて京都の芸術系大学で行った集中講義「経済学」(14回シリーズ)がもとになっている(TV番組でも放映されました)。その内容は「金は天下の回り物」にはじまり、経済学の祖と言われるアダム・スミスやケインズの考え方などの紹介、「政府か日銀か」と題する財政政策や金融政策のこと、円高と産業空洞化、年金や消費税の問題、リーマンショック、戦後日本経済史などわかりやすく解説していますので気軽に読める本だと思います。(1,2年生向け)
	「原因と結果」の経済学：データから真実を見抜く思考法	中室牧子, 津川友介著 ダイヤモンド社 2017.2	331.19//N37	5201730823	2つのことがらが本当に「原因と結果」の関係にあるのかどうか、単なる「相関関係」にすぎないのかを正しく見抜けるようになり、身の回りにあふれる「もっともらしいが本当は間違っている根拠のない通説」に騙されなくなる。この「因果推論」の考え方を、数式などを一切使わずに徹底的にやさしく解説した本で、一読を薦めます。
	アメリカは日本経済の復活を知っている	浜田宏一著 講談社 2013.1	332.107//H22	5201427654	東京大学での教え子、元日本銀行総裁・白川方明への糾弾の書でもある。20年もの間デフレに苦しむ日本の不況は、ほぼすべてが日銀の金融政策に由来すると著者は述べる。アダム・スミス以来、200年間経済界の泰斗たちが営々と築き上げてきた理論を無視するものであるという。ここで解説する理論は、著者一人だけが主張するものではなく、ほとんど世界中の経済学者が納得して信じ、アメリカ、そして世界中の中央銀行が実際に実行しているものであるという事が分かるのではないだろうか。(3,4年生向き)
	「ココロ」の経済学：行動経済学から読み解く人間のふしぎ	依田高典著 筑摩書房 2016.12	331//I18	4201618119	人間の行動は矛盾に満ちている。ときには理性的に、利己的にふるまう一方で、ときには感情的に、利他的にふるまう。本書は、ココロの深奥に迫ろうとする経済学の新しい潮流を一望し、心理学、脳科学などの知見を援用しながら、謎に満ちた人間の不思議を解明しようとしたものです。一読を薦めます。
石川共平	キャリア教育のウソ	児美川孝一著 筑摩書房 2013.6	366.29//Kc64	4201404337	キャリア教育って何？「やりたいこと探し」「キャリアプラン」重視のキャリア教育を批判し、それぞれのライフキャリアと向き合い、仕事と生活をどう両立させ、どう折り合いを付けていくのかという現実的視点からキャリア教育を考えていることに共感しています。卒業後も「学び習慣」を身につけ、キャリアデザインマインドをもって行動することが大切。
	ブラックバイト	大内裕和, 今野晴貴著 堀之内出版 2015.4	366.8//O91	4201502018	あなたのバイト、ブラックではありませんか？サービス残業当たり前。シフト変更を申し出ても認めてくれず学業に影響も。休みもとれず、辞めたくても辞めさせてくれない。そんな経験ありませんか？ブラックバイトは社会の縮図。社会に出てブラック企業に潰されないために、今から対処法を身に付けておくためのお助け本です。

推薦者	推薦図書				推薦文
教員名	タイトル	著者 出版者 出版年	請求記号	資料番号	
小口千明	ジオ・パルNEO：地理学・地域調査便利帖	野間晴雄 [ほか] 編著 海青社 2017.4.	290.1//N94	5201727577	レポートや卒業研究で地域調査をおこなう際にとっても役立つ1冊。どのような資料がどこに所蔵されていて、それをどのように使うと何が解明できるかがわかりやすく説明されている。かなり深い内容が述べられているにもかかわらず、図・写真や実例が多数掲載されているので、楽しく読める点が本書の特色である。
	ヒガンバナ探訪録	有菌正一郎著 あるむ 2017.4.	479.374//A79	5201727588	ヒガンバナの研究というと植物学を思い浮かべるかも知れないが、この本はヒガンバナと人間との長い歴史的な関わりを解き明かす「社会科」の研究書である。秋に赤い花をつけるあのヒガンバナに「日本人のこんな歴史を読み取ることができるのか!」と、びっくりする学術書である。やさしくわかりやすく書かれていることも本書の特色といえる。
小林孝雄	市民科学者として生きる	高木仁三郎著 岩波書店 1999.9	289.1//Ta29	4201404601	大学や政府系の研究機関、あるいは原子力利用を推し進める側の企業と対峙する立場から、原発や放射性物質の危険性を世界に訴え続けた核化学者の、自伝的な著作です。将来を嘱望されながら、あえて体制側を飛び出して、市民科学者としての立場を貫いた生き方に、感銘を受けます。
	有害化学物質の話：農業からプラスチックまで	井田徹治著 PHP研究所 2013.1	498.4//I18	4201404703	共同通信社の記者として、世界の各地を取材して回った著者は、現在世界中で起こっている様々な環境問題を広くかつ深く掘り下げ、丁寧な取材を重ね、読者にわかりやすい表現で伝えてくれます。その中の一冊で、2013年に公開された本です。
	地球環境報告；[1] 2	石弘之著 岩波書店 1988.8-12	519//I71//1 519//I71//2	0089026553 ([1]) 4200604086 (2)	ジャーナリストとして世界の各国、各地域の環境の変化を見てきた著者が、地球上の環境変化に起因する様々な問題を、幅広い視点からわかりやすく解説した本です。
佐竹博	物理学者の墓を訪ねる：ひらめきの秘密を求めて	山口栄一著 日経BP社 2017.2	420.28//Y24	5201727383	著者はビタミンCの発見者で癌研究に心血を注いだノーベル賞受賞生化学者。こういう人こそ偉人と言える。歴史は激動し当時と比べて世界はまるで変わった！それなのに、著者の心配はまったく解決されていない。それどころか、当時よりむしろ悪化したかもしれない。何故なんだろう？付録「人間賛歌と六つの祈り」には学生の頃心を打たれた。
	日本のもの造り哲学	藤本隆宏著 日本経済新聞社 2004.6	509.21//F62	5201428871	技術で勝ってビジネスで負ける。日本の家電産業にみられる現状である。日本のもの造り産業が生産技術に代表されるように営々現場を鍛え上げてきたが、その割に利益が出ていない。強い工場、強い本社というあるべき姿を詳説している。日本の産業論を理解する一助となる書籍です。
	日本の電機産業何が勝敗を分けるのか	泉田良輔著 日本経済新聞出版社 2013.4	540.9//199	5201634962	日本の電機メーカーは、なぜグローバルで起きた競争のルールの変化に対応しきれず、世界の競合企業に遅れをとってしまったのか。現在、日本の電機メーカーに勝機が訪れている。産業の垂直統合化が起きていること。日本の電機メーカーにはハードウェアを造り出す能力があること。新しい電機産業の仕組みを再設計するためのヒントが述べられている。
	電子立国は、なぜ凋落したか	西村吉雄著 日経BP社 2014.7	549.09//N84	5201518789	アップルもレノボも鴻海も生み出せなかった日本電子産業。かつて世界を席卷し、自動車産業とともに日本経済を牽引してきた電子産業。日本電子産業に加わった4つの圧力に対応できなかった。日本の高齢化社会の問題解決にイノベーションを起こすICTへの期待は大きい。日本電子産業の現状を解明し、今後の方向を示唆してくれる書です。

推薦者	推薦図書				推薦文
教員名	タイトル	著者 出版者 出版年	請求記号	資料番号	
吉田博行	夜と霧-ドイツ強制収容所の体験記録- (فرانクル 著作集 ; 1)	V.E.フランクル[著] ; 霜山徳爾 訳 みすず書房 1980	140.08//F44//1	0081121095	この本には、さまざまな問題が山積みしています。とても売れている文献。これは読まなくてはならないと思います。
	仕事人が人をつくる	小関智弘著 岩波書店 2001.9	366.29//Ko83	4201404612	町工場の工員をしながら本を書く人の本。仕事人が人をつくる。とても珍しいタイプの著者。薦めます。
	わしの眼は十年先が見える : 大原孫三郎の生涯	城山三郎著 新潮社 2009.1	913.6//Sh89	4201008872	岡山県倉敷の大原孫三郎と石井十次とのつながり。経営を学ぶ人に読んでほしい文献です。
森田昌幸	神戸事件	内山正熊著 中央公論社 1983.2	210.61//U25	4201406669	明治政府の欧米に対する土下座外交批判、当時の岡山藩士を無実の罪で切腹させた弱腰外交、今の日本政府の対米追従外交と似ている。参考になる。
	スモールイズビューティフル	E.F.シューマッハー著 ; 小島 慶三、酒井戀訳 講談社 1986.4	331.04//Sc8	5201424979	著者はドイツ人でありながら、イギリス石炭産のトップになり、地球資源の限界を予告した。「ローマクラブ」の提言のもと、ノーベル経済学賞候補と目されていたが、心臓まひで急死した。
	自由と規律	池田潔 岩波書店 1963.6	372.33//I32	4201413555	イギリスの高校、大学で学んだ著者が日本の若者てに書いた警告書。日本人は、自由は求めるが責任は取らないケースが多い。自由には厳しい規律が必要と説く。
松野民雄	科学研究とデータのからくり : 日本は不正が多すぎる!	谷岡一郎著 PHP研究所 2015.1	407//Ta88	4201620523	研究者の過失・不正をレベル1からレベル5までの5段階に分けて検討している。レベル1は単なるミスで、訂正すれば済むレベルだが、レベルが上がるにつれて悪質性が強くなり、レベル5になると犯罪行為であるとする。本書は、非常に分かり易く書かれており、読み易い本である。新書本であるので、通学途中の電車の中でも気軽に読むことができる。是非とも読んでもらいたい一冊である。
持丸邦子	マルコポーロ東方見聞録	マルコ・ポーロ [著] ; 月村辰雄、久保田勝一訳 岩波書店 2012.5	292.09//P77	5201233364	有名な書物を実際に読むことは案外ないと思いますが、読んでみると、たくさんの面白い発見があります。日本には来たことがなかったけれど、日本を“ジパング”として紹介している箇所、また、たくさんの中国の地名が出てきて、現在の姿と比べるのも面白いです。食習慣、偶像崇拜の有無に関心が深かったことも読み取れます。
	「悪意の情報」を見破る方法	シェリー・シーサラ著 ; 今西 康子訳 飛鳥新社 2012.8	404//Se15	5201426378	著者はカリフォルニア大学サンディエゴ校で科学の研究成果を一般人に説明する手法を科学の専門家に教えています。日本語訳の発行は2012年8月。ちょうど原発事故によって科学に対する正しい見方を求めている時に発行されました。その後、STAP論文や薬の臨床実験で不正が明らかになり、ますます、科学への正しい見方が問われる時代に読んでおくに立つ本です。

推薦者	推薦図書				推薦文
教員名	タイトル	著者 出版者 出版年	請求記号	資料番号	
持丸邦子	検証！福島原発事故の真実（プロメテウスの罫；2）.	朝日新聞特別報道部 学研パブリッシング 2012.7	543.5//A82//2	5201325526	東日本大震災から3年が過ぎましたが、被災地の復興は地域によって、その進度に格差があり、復興の進んでいる所の報道にばかり触れていると実感が伝わらなくなってしまいます。特に原発事故については、事実上、事故は収束していないのにも関わらず、真相が見えません。この本は、朝日新聞での連載記事を最初から編集少し加筆したものを順次、単行本にまとめていっているもので現在も新聞の連載は続いています。過去の真相から直近の状況までをまとめて知ることができます。
神島芳宣	朝2時起きで、なんでもできる! : Trust your intuitive heart ; [1], 2, 3	枝廣淳子著 サンマーク出版 2001.12-	159//E21 159//E21//2 159//E21//3	4201504452([1]) 4201504463 (2) 4201613524 (3)	若者は朝が苦手という傾向にもかかわらず、城西大の学生は意外と朝早く、勤勉である。この本をみて、朝早く(から)何を順序立て日々の生活のバイオリズムを作るか役立つかもしれない。学生の一部は通学に時間がかかる、実際2時から起きて予習復習をすることは若い時なら可能だろう。ただ数学のようにいつ結論、結果が出るかわからない学問では短期間での予定は立たず、この本のやり方は利用出来ないが、自分の専門に多くの時間を割くために他のことをどのようにうまく調整すればよいか参考になる。
	ナツコ：沖縄密貿易の女王	奥野修司著 文藝春秋 2007.10	289.1//O56	4201504500	終戦直後の沖縄と沖縄の人は日本全体もそうであったように想像を絶する苦難に見舞われていた。どうやって食料を得、生き延びたか戦争の経験のない自分には想像もつかない。しかし、どんな時も必ず苦境を克服してくれる英雄がいた。いや沖縄だけ？に、女傑がいた。よく考えると沖縄の島々(糸満、与那国)からは台湾、香港、フィリピンの東南アジアのほうが東京、大阪より近い。ナツコさんは優しさで“したたかさ”をもって、戦後の5年間沖縄の生活を守った。
	つきあい方の科学：バクテリアから国際関係まで	R. アクセルロッド著 ミネルヴァ書房 1998.5	361.4//A97	5201458674	コンピュータ シミュレーション技法(ゲーム理論)で社会の秩序をどう考えるかの本。色々な権謀術を科学的に分析することを目的とする。伝統的な手口が理論的に科学用語で解釈されると個々のケースがモデルとして定式化され、それと違うことを行うことは例外とみなされる。少数派は例外グループに配属され、差別を受けるがだんだん増えてくると市民権を得て、新たにモデルとして意味を持つ。しかしこのような方法論はその後引き継がれ、社会学での研究の一つの方向性を提供した。
	社会的ジレンマのしくみ：「自分1人ぐらいの心理」の招くもの	山岸俊男著 サイエンス社 1990.10	361.4//Y23	5201524765	個人主義と自分勝手、相手に迷惑をかける、相手から被害を受けるのは自分が社会の一員である限りやむを得ない。社会で共存するためには、また心地よく生きるには、最小限の迷惑で、どう対処すべきか考える。沖縄の基地問題、福島原発、地域紛争、環境問題、人口増加・減少問題、一部の人がそれらを先延ばして現実に向き合わない社会は破滅に向かうのか今や地球単位でのジレンマに陥っている。なんでも他人事にするこの社会をどうするか、読んで政治に関心を持ってほしい。
	サンダカン八番娼館：底辺女性史序章	山崎朋子著 筑摩書房 1972.5	367.21//Y48	0093031217	学生の頃この作品の映画を見て、それから約20年経って熊本に住んでいた時初めて天草に行き、“からゆき”と呼ばれたおサキさんがここで人目を避けながら最後を遂げた場所かと思うと、申し訳ない悲しい気持ちしか残らなかった。従軍慰安婦問題は国際的に根深く、焦点となつてはいるが、特に自国の兵隊のために、海外で娼婦となった人たちの真実はこのよう小説の記録がなければ永久に闇のままだろう。戦争犠牲者は生きて帰ってきても安らぎの場所はない。

推薦者	推薦図書				推薦文
教員名	タイトル	著者 出版者 出版年	請求記号	資料番号	
神島芳宣	サンダカンの墓	山崎朋子著 文藝春秋 1977.6	368.4//Y48	4201506648	サンダカン八番娼館が映画になった時、ターキー(水の江瀧子)がボルネオのサンダカン町の娼館の女将の役をやっていた。確かに日本に戻らなかった彼女たち戦争の犠牲者の墓は「日本に背を向けて建てよ」という女将の回想シーンがあった。この本をみても、なぜそうしたのか自分にはわからない。日本に戻った娼婦の多くはおサキさんのような境遇であった。当時九州の農村部(特に天草、島原)の若い女性は口減らしのため、東南アジアに売られ、決して報われることのない犠牲を強いられた。なぜ戦争をしなければいけないのだろうか。
	忘れられた日本人	宮本常一著 岩波書店 1984.5	382.1//Mi77	5201522400	日本人のいいところ、それらがだんだん忘れられ、かつての日本社会は空きマンションのように地方から空洞化している。洗練された日本、落ちたリングは売り物にはならない。日本製をどれだけ持っているか今や世界のステイタスかもしれない。この本は日本近代民俗学、本当の裏話であり、かつて全国各地でたくましく生きてきた人々の生活を思い、回顧するのもよし、あるいは今からもう一度日本人再生を考えるための指針にもなる。
	統計でウソをつく法：数式を使わない統計学入門	ダレル・ハフ著 講談社 1968.7	408//B59//120	1006019880	最近のコマーシャルには、製品に効果があることを数人の人たちを登場させて、様々な成功例と思われる美談を聞き出し、その製品の購入を勧めるものがある。この本によれば、特定の5人による結果と不特定の1000人のサンプリングによる結果も同じになる統計学の技があることを、様々な例から導いてくれる。もちろん、売り手側も反例があるのでこの統計的証明には間違いがあるということを画面の隅に小さく「使用効果には個人差があります」と説明している。この本が書かれてから50年以上たってても、真実を伝えているのは統計学がウソをつかないことを示しています。
	Mathematicians under the Nazis	Sanford L. Segal Princeton University Press c2003	410//Se16	5201522547	ヒトラーのナチ政権のもと、科学者の生活はどうだったのだろうか。そもそも数学は世の中の生活とは無縁の代物だから、戦時下何も影響はないだろうと思うかもしれない。ヒトラーとナチのゲシュタポ精鋭たちにとって数学などは眼中にもなかったのだろう。しかし、第2次世界大戦はすでに情報戦争の始まりだった。ナチスが次にどこを攻めるか前もってわかっていたら、連合国の犠牲は最少で、逆に(顕著な例として)戦艦大和の最後のように、奇襲はいとも簡単に相手国に致命的な損害を与えることができる。連合国は果たして数学を最大限利用し、暗号解読を行い勝利に導いた。
	Mathematicians fleeing from Nazi Germany : individual fates and global impact	Reinhard Siegmund-Schultze Princeton University Press c2009	410.28//Si2	5201515116	ナチの台頭につれてヨーロッパの科学者は戦争を避けるべく主として米国に避難あるいは亡命した。ドイツの数学者者に関していえば、ナチであった数学者はドイツ国内に残り、多数のユダヤ系数学者はドイツを離れた。ヨーロッパはそれまで明らかに数学の中心であったのが、2回の大戦を経て米国があつという間に数学の中心になってしまった。その受け入れの理由は単に米国人のヒューマンイズム(おおらかさ)だけではない。巧みに能力・技術を彼らから獲得、将来の核戦争の盤石な基盤をつくることまで考えていたに違いない。1990年後半では、ソビエトの崩壊とそれに伴うペレストロイカで沢山の優秀、あるいはそうでもない数学者はヨーロッパ、米国に拡散した。ナチに抵抗する数学者の当時の気持ちを戦争・弾圧という環境を通してみることは興味がある。意外と、イデオロギーを駆使することなく殺戮は嫌で、平凡を好み米国なら数学に没頭できるという単純な動機で移った数学者は結構いるのではないだろうか。

推薦者	推薦図書				推薦文
教員名	タイトル	著者 出版者 出版年	請求記号	資料番号	
神島芳宣	幾何学基礎論	D. ヒルベルト 筑摩書房 2005.12	414//H58	5201517107	もし眠れないとき、これを読むことは比較的早く眠りにつけるので眠りのために推薦する。一切感情を捨て、ただひたすら約束(公理)のもとで論理的に議論し真理を導く。それは宗教よりも高尚である。何が楽しくてこのような数学をやるのだろうか。そこには、嘘も詭弁も会話もなくただ永遠の真理の世界のみが存在する。そこは恐ろしく静寂で青くみえる空間である。人に会い、この本で覚えたことをすぐ人に話さないと怖くなる。
	アメリカの詩を読む	川本皓嗣著 岩波書店 1998.12	931//Ka95	5201529463	マニアックかもしれないが、初めてアメリカだけの詩を読む人にとっては入門書。比較文学の著者が詩の作成の定義(ルール)、詩の解釈を丁寧に説明してくれる。それは入門書以上のものである。アメリカ詩人の自由奔放な詩の世界にゆっくりと浸ってみると、自分の普段の会話がいかに品のないものか恥ずかしい。目をつぶって西洋、アジアとも違う楽しく深遠なアメリカ情感を本の一時電車の中で味わうことができる。
	論理と言葉の練習ノート：日々の思考とAIをつなぐ現代の必須科目	川添愛著 東京図書 2021.9.	116//Ka98	5202138963	数学科の学生の多くは問題を考えることより、解答を暗記することが代々行われている。公式の暗記はその典型的な例と言える。だがそれでは数学を考える力は一切育たない。数学の思考は数学の論理をその手段として、構築されるべきものである。長く数学と生きるにはその論理思考回路をこの本により勉強することを薦める。
	研究計画書デザイン：大学院入試から修士論文完成まで 増補改訂	細川英雄著 東京図書 2015.10.	377.15//H94	5202331092	修論等を書くためには、その構成を知る必要があるが、内容はともかく、書き方を自分で学ぶ必要がある。
	詳解大学院への数学：理学工学系入試問題集 改訂新版	東京図書編集部編 東京図書 1992.6.	410.79//To46	0097024148	近年、数学科の学生は大学院に進む傾向が出てきた。いろいろな意味でのスキルアップのため大学院の学びの情報を知ること大切である。微積分編と線形代数編は対応策としての具体的な問題集である。
	詳解大学院への数学 微積分編	本田龍央、五十嵐貴著 東京図書 2014.10.	410.7//H84	5202317971	
	詳解大学院への数学 線形代数編	本田龍央、五十嵐貴著 東京図書 2014.10.	410.7//H84	5202317982	
横山文郎	二重らせん：DNAの構造を発見した科学者の記録	ジェームズ・D・ワトソン著 講談社 2012.11	408//B59//1792	5201250890	DNAの二重らせん構造は、20世紀最大の研究成果の1つであり、今話題のiPS細胞、STAP細胞の研究もその延長上にあります。本書は、若い平凡な研究者のワトソン、クリックがどのようにして二重らせん構造にたどり着いたかの研究者本人が書いた物語であり、若い研究者に夢を与える本です。
竹村哲雄	本の中の世界	湯川秀樹著 岩波書店 1963.7	019//Y97	4201705308	昔、東条英機、今、湯川秀樹と言われた時代の本。著者はご存知素粒子研究の先駆け日本初のノーベル賞受賞者で、理系の若者の憧れの的だった。帯に書いてある「読書の思い出を語り、若き日の回想を聞かせてくれる。」という宣伝文句を見るとつい読みたくなった。因みに、当時読書の道標として、「岩波文庫100冊の本」というのもあった。読むべき本がどんどん増えて若者は幸せだ。

推薦者	推薦図書				推薦文
教員名	タイトル	著者 出版者 出版年	請求記号	資料番号	
竹村 哲雄	哲学用語図鑑	田中正人著 プレジデント社 2015.3	130//Ta84	5201626450	西洋人の考え方を可愛いイラストで、単純明快に図示しており、結構分厚いけれど楽しく読めます。それを道標として興味を持った本を読んでもください。世界を歴史的にかつ大局的にとらえる事も必要です。思想の変遷を辿ればその切掛けになります。科学者や数学者が思想家であることも多いので科学史とも連動しています。
	パンセ ; 1, 2	パスカル [著] 中央公論新社 2001	135.25//P26//1 135.25//P26//2	5201125717 (1) 5201125728 (2)	国語の教科書にも載っていた「人間は考える葦である」など、よく引用されるあの数学や科学の天才が書いた断片的な思想を集めた本です。読んだ人も多くと期待しますが、まだなら是非最後まで全部読んでみてください。若い諸君の人生観が深まるかもしれません。実際に君達の年頃に僕が読んだのは、中央公論社「世界の名著」のパスカルでした。
	狂ったサル：人類は自滅の危機に立っている	Aセント=ジェルジ著 サイマル出版会 1985.6	304//Sz	0087042105	著者はビタミンCの発見者で癌研究に心血を注いだノーベル賞受賞生化学者。こういう人こそ偉人と言える。歴史は激動し当時と比べて世界はまるで変わった！それなのに、著者の心配はまったく解決されていない。それどころか、当時よりむしろ悪化したかもしれない。何故なんだろう？付録「人間賛歌と六つの祈り」には学生の傾心を打たれた。
	右傾社会ニッポン	中野雅至著 ディスカヴァー・トゥエンティワン 2014.10	311.3//N39	4201622057	本というものは世の中には色々な考え方があることをじっくり教えてくれる。本学図書館が力を入れているように若いうちこそ沢山読むべきである。表題の日本に限らず、世界中が右傾化していると言われる今日、右傾化についての分析も重要である。益々激動する世界を君達が付和雷同せず冷静に生き抜くのに役立つかもしれない。
	ポスト資本主義：科学・人間・社会の未来	広井良典著 岩波書店 2015.6	332.06//H71	4201507444	著者は科学史・科学哲学専攻です。近年の宇宙論は『複数の“宇宙環境”の中で、いわば人間の存在を可能とする環境的条件を探る学問という性格を帯びてきている。』しかし、『近代科学においては、生命や自然を含む世界は“機械論的”に、つまり受動的な存在として理解され、…“一本道の科学”であり、対象や地域や空間の「多様性」ということへの関心は背景的なものだった。』さらに、『鎮守の森』や『アインシュタインの宇宙的宗教感情』も登場し、最後に、『個別分野の縦割りを超えた超長期の時間軸で物事をとらえ考えなければ、現に起こっている事態の意味や今後の展望が見えてこないような、大きな時代の分岐点に私たちは立っているのではないか。世界の持続可能性や人々の幸福という価値を基準にとった場合、定常化あるいは「持続可能な福祉社会」への道こそが、私たちが実現していくべき方向ではないか。』と結論しています。
	日本辺境論	内田樹著 新潮新書 2009.11	361.42//U14	4201808255	私達の世界は相対的なので、自分が住んでいる所が、どの位辺境かどうかは明確ではないとも思いますが、例えば日本の水戸黄門の本質が、「外来の権威を前にすると思考停止に陥る人々のうちに自分たちの似姿を見て、「なるほど私達の心理はこのように構造化されているのか」と無意識のうちに再認しているのです。」など色々面白いことが書いてあります。世界観を形成する際、人の意見は参考になり、本はその切っ掛けの一つになるかもしれません。
	学校の戦後史	木村元著 岩波書店 2015.3	372.107//Ki39	4201501277	皆さんは当たり前のように大学で学んでいるかもしれませんが、昔はそうでもなかったことが分かります。自分を振り返り大学で学ぶ意義を考え大学生活半ばで自分を位置付ける機会になるかもしれません。専門家により熱意をもって集められた学校に関する資料として貴重です。誰も学校教育を避けて通れないので教員を目指す人に限らず一読に値します。

推薦者	推薦図書				推薦文
教員名	タイトル	著者 出版者 出版年	請求記号	資料番号	
竹村哲雄	暴露：スノーデンが私に託したファイル	グレン・グリーンウォルド [著] 新潮社 2014.5	391.6//G83	5201448579	最超大国かつ世界の警察であるアメリカ合衆国の二大情報機関NSAとCIAにいたエドワード・スノーデンは正義感から命がけで内部告発した。そして今も身動きが取れずにロシアにいる。著者は極めて困難な状況下で主人公に会い機密文書を手に入れる。どんなフィクションよりはらはらする。内容と告発の評価については読者に委ねられる。話題は沈黙化しているが、最近でも「スノーデン、監視社会の恐怖を語る 独占インタビュー全記録」小笠原みどり著(毎日新聞出版)など関連する本も出ている。
	不思議の国のトムキンス	ジョージ・ガモフ著 白揚社 1959.3	408//G18//1	1000017512	例えば光速が20km/hだとしたら世界はどう見えるかという仮定や誇張というトリックを用いて、大物理学者が一般人のために漫画チックに余裕で書いた科学啓書なので、まるで童話やSFを読むように不思議な魅力があった。高校生の時に物理学って何て深淵なんだろうと思った。
	ロウソクの科学	ファラデー [著] 角川書店 2012.6	430.4//F15	4201704216	ロンドンの貧しい鍛冶屋の家に生まれたマイケル・ファラデーの偉大さを象徴する本。物理と化学の両方の教科書に登場する清貧の科学者。自然に対する簡素で柔軟、真摯な態度、天性の洞察力と情熱があるからできる努力や工夫、そして高潔さと人に対する温かさがあったからこそ、科学史において巨大な足跡を残したことを納得してしまう。
	双子の遺伝子：「エピジェネティクス」が2人の運命を分ける	ティム・スペクター著 野中香方子訳 ダイヤモンド社 2014.9	467.3//Sp3	5201834533	生物学は21世紀になり益々発展し重要になってきた。なぜ双子は同じ遺伝子を持っているのに表現型が違うのか？遺伝子のオン・オフのスイッチの入り方が変わることによって、遺伝子の働き方が後天的に変わることが分ってきた。僕は一卵性双生児の父親でもあり、“光合成細菌の遺伝子が発現するかしないか、Stereochemical control in asymmetric reduction of ketones by deletion mutants of Synechocystis sp. PCC6803”のような研究をやっていたので実感する。本書は若者に「遺伝子スイッチ」を押してより充実した人生を送る方法を解き明かしてくれる。
	がん難民をふせぐために：抗がん剤・放射線治療の基礎そして福島へ	井手禎昭著 本の泉社 2013.6	494.5//I19	5201651065	若手医師が初めて著した本で、表題から受ける印象とは違い、医療や原子力発電の問題に真面目に取り組み、一般人に分かり易く説明しようと努力するユニークな内容で、副題中に放射線治療の基礎とあるように、分かり易い放射化学の教科書のような章もある。
	新編銀河鉄道の夜	宮沢賢治著 新潮文庫 2012.4	913.8//Mi89	4201808266	表題の物語を含む童話集。勉強に疲れた時息抜きに読んだらどうでしょうか。著者は、ご存知、農学・自然科学・宗教をバックグラウンドに、文学・童話、教育、倫理など広く影響を与え、根強いファンが多い人。「ゼロ弾きのゴーシュ」は後年読み直した際に自然界に生きる人間の真摯な仕事観にうたれた。読みが浅かった。遅かった。君たちはその轍を踏むな。思考の整理の大家・外山滋比古さんは「本の知識が役立つのは30代まで。40歳を過ぎたら本に頼らず、自分で考えることが必要」と断言しています。年取ると読書が将来役に立つはずであろうという期待感が激減し知識が新鮮に頭に入りません。読むならどんな本でも“今です！”。
	終末の思想	野坂昭如著 NHK出版 2013.3	914.6//N97	4201619449	水や空気のように今の日本では当たり前のようにあると思われる食料。農業が衰退したらどうなるか、それどころか著者(2015年没)は既に「日本は食の敗戦国である」という。表題のように暗い内容だが、たとえ何があってもめげずに逞しく生きよというメッセージが聞こえることを期待する。昔だって乗り越えられたのだから。

推薦者	推薦図書				推薦文
教員名	タイトル	著者 出版者 出版年	請求記号	資料番号	
竹村哲雄	小さな王子さま	アントワーヌ・ド・サン＝テグジュペリ みすず書房 2005.8	953//Sa22	5201526723	冒頭で「昔子供だった頃の大人に」と友人宛に言っています。僕の経験では、ちょうど作中にあるように話題にするのがためられる位、よく分からないので途中で投げ出したという人が多数派で、それ以上話が進まないことが多いです。読めばもしかしたら、君も失われた何かを取り戻すことができるかもしれませんよ。実際に君達の年頃に読んだのは岩波書店の内藤濯訳「星の王子さま」でした。
	ラ・ロシュフコー箴言集	ラ・ロシュフコー著；二宮フサ訳 岩波文庫 1989.12	957//R56	5201834544	「われわれの美德は、ほとんど常に、仮想した悪徳にすぎない。」人との出会いが偶然であるように本との出会いもまた偶然です。そそっかしい僕はこの著者を理系の誰かと間違えて読んでしまいました。理系文系を問わず若い皆さん。所謂大人には当たり前過ぎて毒にも薬にもならないのですが、純粋な人は免疫をつけるために、生真面目過ぎて引き籠りがちな人は治癒するために、超苦い薬ですが飲むことをお勧めします。虚心坦懐正しく受け取れば多分生きるのが楽になります。皆分かっていることだから普通は誰も教えてはくれません。人間とはこういうものだから悩みなさんな。安心なさい。逆手にとって自由に生きるのです。
	神、この人間的なもの：宗教をめぐる精神科医の対話	なだいなだ著 岩波書店 2002	160.4//N12	4201908508	おまえとおれと呼び合う分身関係の精神科医二人。実話風に書いてあるが創作ではないかと感じる。人は成長過程で、同輩と議論をするものだ。始めから不思議な共感を覚える。若い日の議論から半世紀の間、彼ら二人が互いに独立に考え続けていたことは、世界三大宗教と人類2千年の歴史における信仰や狂気について。読者がそれぞれの結論を出すしかない重く壮大なテーマである。
	なぜ世界は存在しないのか	マルクス・ガブリエル著；清水一浩訳 講談社 2018	134.9//G11	5201927169	「西洋では、3000年近くにわたって、世界の公式の発見者が次から次へと現れ・・・ミレスのタレスから、カール・マルクス、ホーキングに至るまで、そうした発見者には事欠きません。」から始まる。「哲学を新たに考えた」ら、世界的ベストセラーになったそう。地球の歴史、全世界のすべての事象が理解できない。無理だ。知識量が全然足りない。時間が足りない。絶対に追いつけないと思うのはむしろ自然だ。この世界の全ての事柄を考えると、当然色々な次元があるから、それらが噛み合わなくても不思議はない。これは自分のせいでもなさそう。さて、どんな説明を聞いても、そしてこの本のように禅問答のようなレトリックなら尚更、最終的に自分で考えることが大切だ。
伊藤陽	ねじとねじ回し：この千年で最高の発明をめぐる物語	ヴィトルト・リプチンスキ著；春日井晶子訳 早川書房 2010.5	531.44//R93	4201704318	回転運動を直線運動に変換する為の、最も簡単かつ確実な手段であるネジ。ネジは、部品の組み立て、調整・測定、と科学・技術にも日常生活にも強く結びついている。この書物では、ネジが確かにこの千年で最高の発明であることが、著者と共に追体験できる。読書後には、たった一つのネジが、数千年にわたる人類の努力の結晶であることに、感動すら覚えるであろう。残念ながら、精密ネジの製作方法の詳細は記述されていない。更なる勉強を始めるためにも、格好の1冊である。最近の情報機器には、頭が+でもーでもない特殊ネジが多用されている。それどころか、両面テープで組み上げられた機種も多い。進入禁止！である。そのメリット・デメリットは何なのか、技術動向を考えるきっかけにもなりそう。
谷覺	人と薬の羅針盤	吉岡ゆうこ、ネオフィスト研究所編著 株式会社 じほう 2013.5	499.02//Y92	5201337405	薬の歴史が古代からキリスト教が始まるまでの期間、まとめてある。豊富な写真が理解を助けてくれる。
荻原政彦	セレンディピティと近代医学：独創、偶然、発見の100年	モートン・マイヤーズ著 中央公論新社 2015.4	490.2//Me95	4201504485	本書には、この100年間の医学(薬学)の進歩に、セレンディピティがどのように貢献したかが書かれています。医学の発見史上、有名なエピソードが数多く記載されており、読者は特別な予備知識がなくても、気軽に読み始められます。

推薦者	推薦図書				推薦文
教員名	タイトル	著者 出版者 出版年	請求記号	資料番号	
荻原政彦	現代語訳論語	孔子著；齋藤孝訳 筑摩書房 2010.12	123.83//Sa25	4201102957	「論語」は、今から二千五百年前に成立した孔子の言行録であり、言うまでもなく著名な古典です。著者は、「現代日本では、様々な課題に直面しているが、精神的な拠り所がない」との考えから、精神を培う一つの基準を、「論語」に求めます。その内容を多くの人々に知ってもらうために、あえて平易な現代語に訳出したのが本書です。「学ぶことによる人間形成」を目指す学生の皆さんにご一読を薦めます。
	新型コロナワクチン本当の「真実」	宮坂 昌之 講談社	493.87//Mi82	4202111756	新型コロナウイルスによる感染症は、世界的な大流行となり、多数の死者を出しております。幸いにも予防薬として、人類の叡智を傾けた革新的なワクチン(いわゆるmRNAワクチン)が開発されました。本書では、本ワクチンの開発経緯や作用機序等を分かりやすく解説しております。大学の低学年レベルの生化学あるいは薬理学の知識があれば理解可能です。学生の皆さんにご一読を薦めます。
武内智春	線虫の研究とノーベル賞への道：1ミリの虫の研究がなぜ3度ノーベル賞を受賞したか	大島靖美著 裳華房 2015.4	483.73//O77	5201534825	ノーベル賞を受賞した「プログラム細胞死」「RNA干渉」「緑色蛍光たんぱく質」などの発見の経緯などが記されており、単純に科学の発展の歴史の読み物としてだけでなく、同時に分子生物学や細胞生物学の勉強にもなる本かと思えます。薬学部や理学部の学生にとって勉強になる読み物というだけでなく、ノーベル賞という一般に広く知られた賞を題材としておりますので、もしかすると文系の学部の学生さんたちにとっても手に取りやすく、教養を深めるために役立つかもしれません。
	希望の分子生物学：私たちの「生命観」を書き換える(NHK出版新書；709).	黒田裕樹著 NHK出版 2023.11.	464.1//Ku72	4202307694	21世紀はバイオの時代ともいわれています。バイオテクノロジーの基盤となる分子生物学の最先端をわかりやすく(といっても簡単ではありませんが)解説した本です。この学問は、医療、産業、環境など、社会へ広範な影響を及ぼします。文理問わず教養として読んでおくと、日頃の学び、生活や、就職の面接などにも役立つかもしれません。
橋本フミ恵	前へ!前へ!前へ!: 足立区の落ちこぼれが、バングラデシュでおこした奇跡。	税所篤快著 木楽舎 2011.4	335.8//Sa22	5201126752	中学生のころに「カンボジアに井戸を贈ろう」というプロジェクトに入り、送ったはずの井戸が、4年後に現地へ行くと涸れていて、全く使われている形跡がない現実を知る。「教育でイノベーションを起こし、世界を変えること」を目標に、バングラデシュで、ITを用いて優秀な予備校講師による遠隔授業を実現し、貧しい地方の学生達に教育革命を起こした若い男性の体験記である。
	25歳女性起業家の号泣戦記	山口絵理子著 講談社 2007.9	589.27//Y24	5201529225	子供の頃にいじめにあった体験などから、教育の重要性を確認し、世界の子供たちを救いたいと、アジア最貧国のバングラデシュへ。そこで外国からの援助が末端まで届かない現実を知り、起業を決意する。現地で裏切りなどにあいながらも、「君はなんでそんなに幸せな環境にいるのに、やりたいことをやらないんだ」の言葉を胸に、文字通り体当たりで起業した若い女性の奮闘記である。

推薦者	推薦図書				推薦文
教員名	タイトル	著者 出版者 出版年	請求記号	資料番号	
杉林堅次	薬剤師・管理栄養士のための今日からはじめる薬局栄養指導	杉林堅次ほか著；日経メディカル開発編 日経メディカル開発 2017.8	498.58//Su32	5201738592	<p>城西大学薬学部は薬剤師を養成する薬学科と管理栄養士を養成する医療栄養学科という2つのProfessional Schoolを擁し、かつ薬科学科といういわゆるcollegeを擁す我が国では唯一かつ最大の薬学部である。また、本学部にはさらに4専攻を有する薬学研究科が連なって学生に幅広い進路を提供している。Interdisciplinary sciencesの重要性が叫ばれる今だからこそ、学生はもちろん若い教員にもこの特長を有効に活用し、勉学に励み今後のキャリア形成に生かしてもらいたいものである。</p> <p>医療栄養学科の後援で2006年から「薬局管理栄養士研究会」が開催されてきたが、この研究会開始から10年を経て、やはり薬剤師と管理栄養士の協業の大切さをさらに啓発すべきであるという信念のもと本書の企画がスタートした。本書は前述した研究会の常連メンバーを中心に学内外から多くの方の共同執筆によって上梓されることになったが、自ら管理栄養士でありながら他大の薬学部勤務を経由して本学医療栄養学科の准教授となられ今年から薬学研究科栄養政策管理分野の中心教員として活躍される堀由美子先生、本学薬学部と埼玉県立大学、埼玉医科大学、日本工業大学と多職種連携教育(IPE)の中心メンバー、そして薬学研究科医薬政策管理分野で活躍されている薬学科准教授の細谷治先生、さらに本学を卒業し管理栄養士実務家としてのキャリアを積まれ本学に戻ってこられた加藤勇太助教に多くのページをお任せした。</p> <p>未病対策としての栄養、疾患時の栄養は薬物治療に比べて勝るとも劣らない重要要素である。市中の薬局等で働いておられる薬剤師や管理栄養士、さらにはこれらの卵である学生、特に本学の薬学部生・薬学研究科大学院生にはぜひ一読をお願いする次第である。</p>
関口祐介	料理書と近代日本の食文化	東四柳祥子著 同成社 2019.10	383.81//H55	5202035117	<p>本書は、和食がユネスコの無形文化遺産に登録されたという出来事を理解する上で重要な書籍である。和洋折衷な食事が当たり前となった今、「日本食」の歴史的背景に触れ、その根本を見直す良い資料として活用できると期待している。</p>
荒井健	名画の中の料理	メアリー・アン・カウズ著；富原まさ江訳 エクスマレッジ 2018.3	596.23//C27	5202038063	<p>コロナ禍である今、この本で、絵画をみて少し息抜きをしてみませんか。世界中の名画を料理や文学の角度から体感してみましょう。今回は本を通して、そして、読み終えた後には、実際に名画を観に行ってみたくと思います。</p>
高橋久美	神曲〔完全版〕	ダンテ著、平川裕弘訳 河出書房新社 2010.8	971//D39	5201427643	<p>13～14世紀イタリア詩人ダンテの傑作。フィレンツェの政争や、キリスト教の考え方など、私たちには分かりにくい部分もありますが、地獄へと下っていく主人公につき従っていけば、目の前にくり広げられる光景は圧巻です。</p>
	イリアス(上・下)	ホメロス著、松平千秋訳 岩波書店 1992.9	991//H83//1 991//H83//2	(上) 0093001073 (下) 0093001062	<p>ホメロス作とされる『イリアス』は、『オデュッセイア』とならび、西欧文明の最古の古典文学です。国籍を問わず、西洋の人々の想像力のベースに入っています。トロイア戦争(古代ギリシア)末期、有名なアキレウスが主人公の一人です。</p>
	オデュッセイア(上・下)	ホメロス著、松平千秋訳 岩波書店 1994.9	991//H83//1 991//H83//2	(上) 0095040725 (下) 5201427723	<p>『イリアス』の続編ですが、雰囲気ガラッと変わり、智将オデュッセウスの帰国までの10年間の冒険譚です。宮崎駿『風の谷のナウシカ』のヒロインの名は、『オデュッセイア』に登場するナウシカア姫に由来しています。</p>
中村一輝	英語達人列伝：あっぱれ、日本人の英語	斎藤兆史著 中央公論新社 2000.5	830.4//Sa25	4201601531	<p>私が大学に入学してから始めて読んだ本です。偉人達はどのようにして英語を習得したのか、詳細に記述されています。英語の学習の以前に日本語を大切に必要性を強く感じさせられた記憶があります。</p>

推薦者	推薦図書				推薦文
教員名	タイトル	著者 出版者 出版年	請求記号	資料番号	
中村一輝	ニューヨークを読む：作家たちと歩く歴史と文化	上岡伸雄著 中央公論新社 2004.2	930.29//Ka38	4201604625	ニューヨークを舞台に描かれる小説を中心に解説がされています。アメリカ小説とその歴史や文化の縮図がニューヨークを読むことによって見えてくると気付かせてくれる1冊です。
	グレート・ギャツビー	スコット・フィッツジェラルド著；村上春樹訳 中央公論新社 2006.11	933.7//F29	5201615264 4201601542(付)	本書は村上春樹氏によって訳し下された、数ある翻訳書の1つです。近年では、レオナルド・ディカプリオ主演の映画で公開され、注目を浴びました。原書で読むことが一番良いのは確かですが、まずは名訳で読んでみるのはいかがでしょうか。
	通訳/インタープリター	スキ・キム著；國重純二訳 集英社 2007.2	933.7//Ki31	5201621774	本書は韓国系米国人作家スキ・キムの処女作の翻訳です。私がここ2、3年以内に読んだ翻訳書でもっとも衝撃的なものでした。翻訳書では伝わらないはずの生き生きとした文体が、格調高い日本語で味わえます。
渋井二三男	日本をダメにしたB層用語辞典	適菜収著 講談社 2014.9	304//Te31	4201409230	現在、特に我が国を取り巻く、活力のない平和な日本を、鋭く新進の哲学者が論じていますので、是非熟読をお薦めします。
	ゲーテの警告：日本を滅ぼす「B層」の正体	適菜収著 講談社 2011.8	304//Te31	4201404827	天才哲学者でもあるゲーテが、深遠な、あるべき人間の時空を超えた理性について、警告しています。現代に生きる者の立つ位置が、明確になる気になります。
	ニーチェの警鐘：日本を蝕む「B層」の害毒	適菜収著 講談社 2012.4	304//Te31	4201404838	人間の強い・弱い心理を、あらゆる角度・視点から指摘し、現代の日本人にも通用する警鐘を鳴らし、私たちの心に響きます。
杵渕友子	保守の真髓：老酔狂で語る文明の紊乱	西部邁著 講談社現代新書 2017.12	311.4//N81	4201814754	2018年1月21日に自裁した批評家、西部邁が「最後になる」と述べていた著書である。実際はその後に2冊が世に出ている。このように多産の氏の著作は、どれも読むに値すると思うが、それはON—OFFを問わず考え続けた人間に出逢うことができるという、希有な機会となるはずだからである。とくに本書を推薦する理由は、本人も引用している、J. オルテガの「絶望するものの数が増えることだけが希望である」からで、とくに若い方々には、しっかり絶望したあと、そこから希望をもって上がってほしいと願うからである。